

つどう



● あおぞら会保育部

“地域で子どもたちを育てる”港北区の地域訓練会

あおぞら会保育部は港北区で活動する地域訓練会。子どもたちは、リトミック、運動、乾布摩擦、公園遊び、お弁当などさまざまなことに取り組みます。

保育の基本は母子分離。子どもたちの発達を促す目的が細やかに設定されたプログラムを地域の保育ボランティアが進めます。発足から34年、地域の方たちに子どもを育ててもらおう、という目標はそのままにお母さんたちが協力して運営してきました。「同じ年齢の子どもと遊んだり、集団行動ができてよかったです。同じ悩みを持つお母さんたちと知り合い元気をもらえます」とお母さん。入会は横浜市港北区福祉保健センターの保健師の面談等を経て決定します。



子どもたちは笑顔で運動



午後はお母さんと一緒に活動



お母さんたちからのメッセージ

少人数の保育なので子どもは落ち着いて遊び、子ども同士で影響を与え合い成長しています。子どもはできなかったことができるようになり、私は自閉症のことを学べて、子どもにとっても私にとってもなくてはならない場所です。

名 称	あおぞら会保育部
活 動 日 時	火曜 10:00～13:30 土曜 10:00～12:00
活 動 場 所	活動ホームしもだ（横浜市港北区下田町6-31-8）
連 絡 先	TEL：045-540-2365（横浜市港北区福祉保健センター） FAX：045-540-2426
会 員 数	15名
対 象 者	発達に遅れのある就学前のお子さん
費 用	月会費1500円 他年会費あり



おはなしを聞く表情は真剣そのもの

「地域訓練会」って？

地域訓練会とは、主に障害児のための自主訓練グループや障害児施設などが提供するプログラムのひとつを指しています。多くは市町村の助成などを受けた団体が提供しています。訓練会を実施する団体や活動内容・開催日・利用方法などは各訓練会で異なっていますので、興味のある方は、お住まいの市町村に問い合わせてみてください（訓練会の実施をしていない地域もあります）。横浜市では全区で訓練会が実施されており、横浜市のホームページから検索することができます。

● ともいくクラブ

障害児である前に、障害児の親である前に ひとりの人間としての自分らしさを取り戻そう

ともいくクラブは「障害児のための…」ではなく、障害を通して、一人ひとりが大切な存在だと気づいてきた人たちの集まりです。障害のある子の親やない子の親、先生やボランティアなど、いろいろな立場の人たちがゆるやかなネットワークで結ばれています。「これをしなければならない」「こうでなければならない」といった決まりはないけれど、互いに支え合い、その人らしさを認め合う適度な距離感が保たれているのです。

障害児にとくに必要なのは、他人と関わること。母親と障害児はいつも密着しているので、親は子どものことを何でも知っていて、また知りたがる、知っておこうとします。けれどそれは障害児の自立を妨げるものとなりかねません。健常児と同じように、障害のある子にも自立心が芽生え、それはいろいろな形で現れます。親以外の大人と触れ合うことで子どもに気づきがあり、その姿を見て親も何かを見出すのです。ともいくクラブの理念と、それにとまなうアクションがぎゅっと凝縮されたふれあいキャンプへのご参加をお待ちしています。



会員にならなくても、ともいくクラブの活動のほとんどに参加できるというのもユニーク

名 称

ピアカウンセリング「障がい児(者)のお母さんの悩み 相談」毎週金曜(第5週・祝日は除く) 10:30～14:00

活 動 日 時

洋光台地域ケアプラザ(横浜市磯子区洋光台6-7-1) 障害のある子との暮らし・子育て相談 第2水曜 10:30～12:30
男女共同参画センター横浜北(横浜市青葉区あざみ野1-17-3) 他

連絡先

FAX: 045-770-1325
E-mail: info@tomoiku.gr.jp

ウェブ サイト

<http://www.tomoiku.gr.jp>

会員数

50名

対象者

理念に賛同してくださる方であれば誰でも(障害の有無・年齢は問わず)

費 用

2500円(年会費)



代表
コメント

障害児・母親・父親・ボランティア・先生などなど、世間から見られる立場性(レッテル)で自分を縛ってはいませんか? 「共に生き、育ち、友達になろう」を合言葉に、みんな一緒に楽しんじゃう、個性豊かな仲間がたくさん存在しているから、いつの間にか元気や勇気が湧いてきます!!

● にじの会

発達障害児・者を持つ親たちが集い、活動し 学齢期から将来を見据えて子育て・教育・社会 環境を考える

LD、ADHD、高機能自閉症・アスペルガー症候群など、発達障害児・者やそれに類似した症状のある子どもたちにとって必要なことは、一人ひとり違います。「まずはわが子を正しく知り、周囲に理解してもらうことから始めたい」と1990年に活動をスタート。

講演会や勉強会の開催、会報の発行、社会や行政に対する啓発活動などのほか、友達づくりの場として小学生・中高生のグループ活動、ゲームクラブ・鉄道好きグループなどの活動も盛んです。キャンプやクリスマス会などの親子活動には、大学生のボランティアさんも参加してくれます。ひとりで悩まずに、一歩踏み出してみませんか。ホッとできる仲間がいます。



仲間づくりのためのグループ活動もいろいろ

名 称	にじの会
活 動 時 日	4月 総会・講演会／5・8月 キャンプ／9月 進学進路情報会／12月 クリスマス会／2月 おもちつき大会他
活 動 場 所	横浜市社会福祉センター、横浜市こども自然公園青少年野外活動センター、県青少年サポートプラザ、横浜市民活動支援センターなど、主に横浜市内の施設を利用して活動
連絡先	TEL：045-391-1783 (代表 福田里美) E-mail：nizinokai@aol.com
ウェブ サイト	http://www.normanet.ne.jp/~nizi/
会員数	220世帯
対象者	発達障害児・者の保護者
年齢層	会員の子どもは園児から20代
費 用	500円(入会金)・5000円(年会費)



代表
コメント

発達障害のある子どもたちは、周囲に誤解されやすく、親も孤独になりがちです。子どもを正しく理解し、自立に向けて、楽しみながらの子育てを目指しています。

● アトムの子 (後天性脳損傷の子をもつ家族の会)

嘆き、悲しみ、そして前向きに 後天性脳損傷児とともに生きる会

アトムの子は交通事故や頭部外傷、心肺停止や脳症などにより、後天的に脳に損傷を負った子どもたちとその家族をつなぐ会。

昨日までは元気に笑っていたわが子が一瞬を境に変わり果ててしまった……、そんな体験をした会員が年数回の会合などを通じて悩みを分かち合い、復学や人間関係、自立への支援などの情報を共有する場となっています。遠方からの入会者も多く、メーリングリストなどを使っての情報交換も。さらに、神奈川リハビリテーション病院小児科医の栗原まな先生をはじめ、心理科、PT、OT、ケースワーカーや養護学校教諭といったスタッフも会合に参加し、専門家の視点で意見やアドバイスも受けることができます。目の前の命を喜び、ふたたび楽しく生きていくために、心を閉ざすことなく語り合いませんか？



「Thank you life again・・・いのちふたたび」

ふたたび笑顔がこぼれだす

「Thank you life again・・・いのちふたたび」、詳細はHPで

名 称	アトムの子 (後天性脳損傷の子をもつ家族の会)
活 動 日 時	不定期(会合は年3回)
活 動 場 所	神奈川リハビリテーション病院会議室他
連絡先	TEL : 045-315-8612 (狩野) E-mail : atom2001@mbh.nifty.com
ウェブ サイト	http://www.atom-kids.net/
対象者	後天性脳損傷の子と家族
年齢層	幼児～成人
費 用	1000円(年会費)



代表
コメント

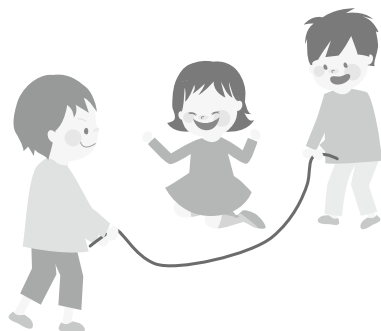
泣いてもいいんです。現実を受け止めたくないのも当然です。でも、私たちは、立ち上がらなければなりません。今あなたがひとりでは立ちあがれないのなら、私たちに連絡をください。たくさんの仲間がいます。みんなと一緒に、きっと起きあがることができるでしょう。きっと、目の前の命を喜び、楽しく生きていくことができるでしょう。

● わくわく未来CAN (運営法人：特定非営利活動法人ワーカーズわくわく)

和泉川がわきだす森、どんぐりの森 道があれば、どこまでも！

横浜市の「学齢障害児居場所づくり事業」のひとつとして、障害児の放課後や長期休暇を支援しています。わくわく未来CANができて2010年で7年目。バリアフリーからは程遠い一軒家&住宅街の真ん中という立地ですが、ご近所のみなさんも子どもたちの成長を見守ってくださっています。

一人ひとりの成長に寄り添いながら、社会的なルールを身につけていくことも目標のひとつです。そのため歩きます。電車にも乗ります。笑顔と「ただいま!」の声がいつも響いています。職員みんな、笑顔で「おかえり」と待っています。



名 称	わくわく未来CAN (運営法人：特定非営利活動法人ワーカーズわくわく)
活 動 時	放課後支援 月～金曜 放課後～18:00 土曜 9:00～18:00 長期休暇支援 9:00～18:00
活 動 所	わくわく未来CAN (横浜市瀬谷区東野台2-4)
連絡先	TEL：045-303-2080 FAX：045-304-9559
ウェブ サイト	http://www.npo-waku2.org
対象者	養護学校・特別支援級に在籍の小学生～高等部のみなさん (要会員登録)
費 用	2000円(入会金)・3000円(年会費)・300円(利用料1時間につき)・300円(送迎料片道)・その他実費



担当者の
コメント

子どもたちが、ありのままの子どもとしてその存在を認められることを大切にしています。そして、いつかは親から離れられる育ちができること。それが願いです。私たちは、保護者のみなさまの「子育てなかま」！

● NPO 法人でっかいそら

親が安心して働けるように 子どもが安心して過ごせる場所を提供するために

横浜市の学齢障害児居場所づくり事業所のひとつ。中高生、大きい子、エネルギッシュな子のための“おひさま”、小学生、肢体不自由の子、騒々しいのが苦手な子のための“ひだまり”の2か所の施設があります。

利用するためにはまず入会が必要。会員登録には制限がなく、いつでも入会可能です。その日ごとに定員まで受け入れ(おひさま20名・ひだまり15名)、緊急性があれば定員を超えていても対応しています。できる限り利用者のニーズに合わせ、親も子どもも安心して暮らせるようにとスタッフみんなでサポート。保護者の相談にも応じます。子どもとスタッフの比率は最低でも3:1、外遊びの場合は2:1か1:1を基本とし、運動や日常生活の訓練、絵本・ビデオ鑑賞など、毎日楽しく過ごしています。



平成17年に利用者4名、スタッフ2名で始まったでっかいそら

名 称	NPO 法人でっかいそら
活 動 日 時	月～金曜 9:00～17:00 土曜 10:00～16:00 (延長あり・要予約)
活 動 場 所	横浜市瀬谷区瀬谷4-3-1 (おひさま) 横浜市瀬谷区本郷3-1-21 (ひだまり)
連 絡 先	TEL: 045-302-1201 (担当 森山良美) FAX: 045-302-2221 E-mail: dekkaiso@mail.goo.ne.jp
ウェ ブ サ イ ト	http://dekkaisora.fc2web.com/
会 員 数	150名
対 象 者	主に知的障害児
年 齢 層	4歳以上成人まで (とくに小学生が多い)
費 用	1時間400円 (利用料)・1回200円 (送迎代) 他



代表
コメント

障害児者への支援は時間がかかるけれど、設立当初の基本理念である「あきらめない、投げ出さない、くじけない」ということで、スタッフ一同楽しくがんばってやっています。お気軽に見学や相談にお出でください。

＜横浜市障害児居場所づくり事業とは＞

障害児が放課後や長期休暇等に安心して過ごせる場所を確保し、心身の安定に加えて、社会性やコミュニケーション能力の向上を図ることを目的としています。障害児が家庭や学校の生活から継続して遊んだり過ごしたりできる場所を提供するためのものです。平成22年度末には各区に1か所、計21か所に実施予定。

横浜市障害児居場所づくり事業所一覧

事業所名	所在地	連絡先
あそびのひろば こかげ	横浜市鶴見区鶴見中央3-10-20	045-503-1256
つむぎ	横浜市西区久保町16-12	045-253-1203
こんぴす	横浜市中区本牧町1-74-201	045-628-0439
キッズサポートどんと	横浜市長区東蒔田町1-10	045-350-8113
キンダーハイムこうなん	横浜市港南区野庭町614-3-101	045-847-4343
ゆめっこくらぶ	横浜市保土ヶ谷区天王町1-11-1	045-334-5208
いっぱい	横浜市旭区東希望が丘81	045-361-1801
とまとキッズホーム	横浜市磯子区森2-13-16 3階	045-750-0259
スペース・たるん	横浜市港北区樽町1-30-14 1階	045-350-4022
みどりワイワイ広場	横浜市緑区中山317-1 1階	045-933-6200
となりのいえ	横浜市青葉区市が尾町719-8 1階	045-974-0229
ゆめっことつか	横浜市戸塚区品濃町510-4	045-334-5208
つぼみの広場	横浜市泉区和泉町487	045-800-5761
おひさま ひだまり	横浜市瀬谷区瀬谷4-3-1 横浜市瀬谷区本郷3-1-21	045-302-1201
わくわく未来CAN	横浜市瀬谷区東野台2-4	045-303-2080

● わいわいアリス

発達障害の専門家がさまざまな分野の専門家とチームを組んだトータルなプログラムが魅力！

横浜市の発達相談員をされている今尾さんが、「現在の療育及び教育環境では軽度や高機能などの子どもたちへのフォローが行き届きにくい」と考えて始めたのが、総合学習指導（座学・体験学習）とリトミックなどの単科指導を行う「わいわいアリス」です。

はじめに面接や発達検査を行い、子どもの成長と特性などを見極めたうえで最適な総合学習指導を提供しています。また、教科指導には教育のプロ、リトミックには本場で学んだ講師など、発達だけでなく各分野の一流の専門家とのタイアップによって生まれたアプローチが特徴です。発達と各分野のプロがつくる輪の中で、子どもたちは無理なくのびのびと成長しています。他にも、さまざまな活動がありますのでぜひ一度のぞいてみてくださいね。



小学生クラス的一幕、各クラスとも小グループが基本です

名 称	わいわいアリス
活 動 時 間	毎日（参加するクラスにより異なる）
活 動 場 所	わいわいアリス（横浜市緑区長津田3-1-16-102）ほか近隣施設（リトミックは成瀬駅より徒歩1分）
連絡先	TEL & FAX：045-984-7775
ウェブサイト	http://home.s04.itscom.net/wai-ars/
対象者	2歳以上の高機能広汎性発達障害児（発達障害のない子どもの参加もOK）
費 用	参加するクラス・回数によって異なります。詳しくはお問い合わせください



代表
コメント

発達障害のお子さんは早期療育がとても重要です。わいわいアリスでは親御さんと課題を共有しながら、一人ひとりに合わせてプログラムを作っていきます。発達障害児を中心としています。発達障害のないお子さんの成長にも活用できる指導ですので、最近ではきょうだい参加も増えています。

STEP こども発達相談室

たくさんほめてやる気を起こさせる
子どもたちそれぞれの成長をゆっくりと見守りながら

行動面の改善、学習能力の習得、コミュニケーションスキルや作業能力の促進、集団生活の適応などを主な目標課題に掲げ、その時々の子どもの様子を見ながらプログラムを設定し、主にマンツーマンで指導しています。

初回の面接で生育歴や心配なことなど、1時間ほどかけて保護者からヒアリングし、子どもの基本的な能力を把握するために発達検査や心理検査を行います。その結果をもとにして指導スタート。幼児にはぬり絵やパズル、シールなど遊びの要素を取り入れた道具を使い、就学年齢児の指導には教科やソーシャルスキルの教材などを用います。子どもの発達に不安がありながら、病院の敷居が高くで……という方は、心理検査のみの希望や単発での相談も受けていますので、気軽にご連絡を。



黄色い外壁のかわいい一軒家が横浜相談室

名 称	STEP こども発達相談室
活 動 日 時	月～金曜 11:00～19:30 土曜 9:30～18:00
活 動 場 所	横浜相談室（横浜市都筑区中川1-28-21）・川崎相談室（川崎市宮前区宮崎2-7-51 リーセントパレス宮崎305号）
連絡先	TEL：045-911-8222（担当 井口裕子） FAX：045-911-8272 E-mail：yokohama@step-kodomo.com
ウェブ サイト	http://www.step-kodomo.com/index.php
会員数	約200名
対象者	発達障害や知的障害のあるお子さん全般（ADHD・アスペルガー・自閉症・高機能自閉症・PDD・LD・知的障害・その他疑いも含む）
費 用	10500円（入会金）・7500円（指導料1回につき 原則月2回の月謝制）他



代表
コメント

発達障害や知的障害のあるお子さんが、自分の能力を十分に発揮して家庭や地域の生活・社会環境の中で最も望ましい形で生きていく力を習得できるように、ご家族と一緒に考えながら支援させていただくことを基本指針として活動しています。

● ひかり教室

ひらがなの読み書きから国語や算数など お子さんに合わせた学習を指導します！

さまざまな障害のある子どもたちに文字の読み書きから算数や国語まで幅広くサポートしてくれるのが、「ひかり教室」です。

一人ひとりの子どもに合わせた学習計画をたて、子どもに合った教材を準備し指導します。学習時間は、お子さんの様子を見ながら、40分から1時間程度です。終了後、ご家族に学習の様子などをお話しします。ひとりで通っているお子さんには、月1回を目安にご家族と学習や生活の様子を含めた面接を行います。土曜日の午後もありますので、平日が難しいと感じているご家族も安心して通うことができます。「横浜市外から通うお子さんも多く未就学児も受け入れております。また、無料の体験学習やご相談は随時受けております。お気軽にご相談ください！」とやさしい笑顔の市川先生。



お子さんの状態に合わせて座学や椅子を選べます

名 称	ひかり教室
活 動 日 時	火～金曜 10:30～19:00 土曜 14:00～17:00
活 動 場 所	ひかり教室 (横浜市緑区寺山町110-5古澤ビル3階)
連絡先	E-mail: hikari.edu@nifty.com TEL & FAX: 045-935-5739 (担当者市川)
ウェブ サイト	http://www.justmystage.com/home/hikarischool/
会員数	40名(2010年3月現在)
対象者	発達に障害のあるお子さん、発達にさまざまな障害があるお子さん、小・中・高校の普通学級、支援学級、支援学校に在籍中のお子さん
年齢層	3歳～社会人まで
費 用	5000円(入会金)・18000円(週1回) 13000円(週2回)・7500円(月1回)



代表
コメント

発達に障害のあるお子さんは、きちんと学ぶ力があります。文字の習得によって家族や友だち、まわりの大人とやりとりする力(コミュニケーション能力)が伸び、生活全般に落ち着きが出ます。一人ひとりのお子さんの発達に合わせて学習プログラムを組みますので、言葉がないお子さんや鉛筆を持ったことがないお子さんもスムーズに学習をはじめることができます。

● 特定非営利活動法人 ブライトネス

子どもたちの“今”だけを見るのではなく 将来働くということを目標に生きる力を育てる

ブライトネスは障害があったり、発達に心配のみられる子どもが対象の塾で、完全個別指導と少人数制のグループ指導があります。学校で習う教科すべてに対応可能で、進路や問題行動など教育相談全般にも応じています。また社会生活を送るうえで不可欠な技術や能力を身につけるためのソーシャルスキルトレーニングも指導の一環です。

先生は女性ばかり6名。豪快で明るくて、とても真剣。親亡き後、ひとりでも生活できるような人間に育てたいという思いがあるので、授業のかたわら、いろんなところで就労の様子を見学してどうやって働いているのか、生計を立てているのかなどを調査して、指導にも役立てています。また、休日や長期休暇時には遠足や宿泊などの余暇活動も行っています。



子ども一人ひとりに合ったプログラムを作成し、指導にあたっています

名 称	特定非営利活動法人 ブライトネス
活 動 日 時	火～金曜 13:00～19:00 土曜 10:00～18:00
活 動 場 所	ブライトネス (横浜市磯子区西町12-1-204)
連絡先	住所：横浜市磯子区西町12-1-204 TEL & FAX：045-752-4654
ウェブ サイト	http://www16.ocn.ne.jp/~bright2/
会員数	80名
対象者	自閉症スペクトラム・ADHD・LD・知的障害・ダウン症・その他(疑い、傾向も含む)のお子さん
費 用	20000円(入会金)・17500円～(指導料1か月4回につき)



代表
コメント

ブライトネスでは学習に加えて、将来の自立、すなわち働くことのできる人間を育てていくという目標を掲げています。仕事を続けていける忍耐力や社会性、清潔感など、将来のことを考えた教育に取り組んでいます。

● 田口教育研究所

動植物好き集まれ！ 自然に触れて楽しもう！

自然の生態系や野外を熟知している生命科学研究者の田口先生が教えるサイエンス教室はとてもおもしろい！

田口教育研究所のサイエンス教室は、主に野外で行われます。水槽の魚が教えてくれないことを川の魚や海の魚は教えてくれます。川や海のどこで泳ぐのが好きか？など実際に見て触れて採集して学びます。

また田口先生は、年に1回フリースクール校の運営者が集まり教育問題や現状を討論する民間教育学会を開催したり、発達障害や不登校のためのガイドブックを年1回編集・発行されたり年10回発達障害の勉強会をご家族向けに開催したりその活動は幅広い。ぜひホームページを見て興味のある方はサイエンス教室や勉強会に参加してみましょう！



年1回編集・発行している『発達障害・不登校のための新しい学びの場』には、800校の学校情報が掲載



HPには、サイエンス教室や勉強会のイベント情報が掲載されています！

名 称	田口教育研究所
活 動 日 時	不定期（年に数回サイエンス教室や発達障害の勉強会等を開催） ＊研究所には常駐
住 所	横浜市港北区日吉2-18-42 サンコーポ103
連絡先	E-mail: info@taguchiken.com TEL: 045-560-3721 FAX: 045-563-5782
ウェブ サイト	http://www.taguchiken.com
対象者	発達障害（AD・ADHD・アスペルガー・自閉症）児
費 用	約2000～3000円（日帰りサイエンス教室、発達障害の勉強会等）＊さまざまなサイエンス教室や勉強会等がありますので詳細の費用については、HPやお電話でご確認ください



コメント

サイエンス教室では、子どもだけでなくご家族にも一緒に生命の大切さを学んでほしいと思います。

● 発達相談室アズ

自閉症の子どもたちの生活と学習を支援します！

発達相談室アズの角中先生は、養護学校や特殊学級、普通学級教員の後、自閉症の知識をより深めるために、ノースカロライナ大学TEACCHグリーンズボロTEACCHセンターインターンとして学ばれました。帰国後、自閉症スペクトラムに属する子どもたちを支援するために、発達相談室アズを作られました。「自閉症スペクトラムに属するお子さんたちは、ストレスを認識できません。そのため、お子さんが知らないうちにストレスをためて爆発してしまいます。そこで、発達相談室アズの定期指導では、勉強や料理など、毎回テーマをかえて自分はありのままでいいのだという自己肯定感が得られるようにストレス緩和のサポートをしていくのです」と角中先生。

また、定期指導では、一人ひとりのお子さんに合った教材を作成します。市販の教材はそのまま使うことはほとんどなく、お子さん一人ひとりに合わせて、手を加えて準備されたものを使用します。

定期指導は、お子さんとマンツーマンで行います。時間は、1時間15



わかりやすい写真説明書付のおもちゃを使って遊んだりします！

分から1時間30分です。定期指導の後に、ご家族にお子さんの様子などのお話をします。お子さんをご家族は別々のお部屋にいていただきます。ご家族は、定期指導中にお子さんを別室からマジックミラーで客観的に見ます。子育てをしている最中に子どもを客観的にみることはなかなかできません。客観的にみることで、子どもについての新しい認識や接し方の気づきになります。お子さんの新しい発見につながります！さあ発達相談室アズに相談してみましよう！



「アズ」はAutism SpectrumのASそしてAs you are. 君は君のままで素敵だよというメッセージをこめて命名しました。自分がわかってできることを一番大切に、日々の指導を行っております。

名 称	発達相談室アズ
活 動 日 時	月・水～日曜9:00～18:00(火曜・定休日、8月は休業)
活 動 場 所	発達相談室アズ(横浜市旭区希望が丘144-1-C-311)
連 絡 先	E-mail: as_hattatsu_01@mac.com TEL & FAX: 045-982-9158
ウェブサイト	http://homepage.mac.com/as_hattatsu_01/
会 員 数	52名
対 象 者	自閉症スペクトラムに属する幼児から成人
費 用	5250円(月1回)・10400円(月2回)・15500円(月3回)・20600円(月4回) ※すべてマンツーマンです



●「きらっと」たんの個別支援教室

お子さんの学習・指導だけでなく
ご家族の相談や学校関係者向けのセミナー等にも対応

教室は丹野先生の自宅。なぜなら、家庭には学習になるいろいろなことがあちこちに転がっているから。例えば掃除、料理、洗濯物干し、アイロンかけなど。家庭の機能を十二分に生かしながら、子どもの社会性やコミュニケーション能力を養っていくのがこの教室の特徴です。

ことば・数、生活動作・遊び・余暇、社会性、教科の学習の4つを柱に、子どもたちそれぞれに合ったプログラムを作成・指導しています。今後、学校や病院、親の会などでのセミナー・ワークショップに力を入れていきたいと考えていますので、ご相談ください。どなたでもWelcome! つまずいている子どもも支援者も一緒に自己肯定感を持てる状態になることがゴールです。



身近なものがとても意味のある教材になるのです

名 称	「きらっと」たんの個別支援教室
活 動 時 間	月～金曜 9:00～19:00のうち希望の時間帯で調整
活 動 場 所	丹野宅(住所下記参照)
連 絡 先	住所：横浜市中区神奈川区二本榎7-3 TEL & FAX：045-413-5209 担当 丹野節子
ウェブ サイト	http://www014.upp.so-net.ne.jp/kiratto/
会 員 数	約20名
費 用	4000円(教室1回40分)・4000円(相談1回40分、事前電話相談も含む) ※セミナーやワークショップは人数や時間により異なる



特別支援学校と小学校での指導経験がある丹野先生は、自身も日々勉強…



代表
コメント

ことば、コミュニケーション、社会性を引き出し、「生きる力」を育てます。子どもの今ある日常からスタートし、よい状態をキープし、ゆるやかな成長をサポートします。子ども支援者とともに自己肯定感が実感できることを目指しています。

● NPO 法人くじらぐも

障害児と健常児がともに集う混合療育訓練に長年取り組む「リエゾン」・相談会と親子への支援は実績豊富

理事長の青方美恵子さんは30年以上にわたり障害児と健常児の混合療育訓練をすすめてきました。月2回桜木町で行われている混合療育訓練におじゃましました。

幼児、小・中学生が参加して、リズムや音楽に合わせて体を動かし、運動やゲームを通して楽しみながら、指示を守って行動したり、人との接し方を身につける体験をしていました。他の会場では絵画工作や積み木ワークショップなども開催。またNPO法人くじらぐもでは子どもと親と学校が相互理解を育みながら、前向きな話し合いができるよう支援する「リエゾン」と名付けた活動にも取り組み、不登校・引きこもりなどさまざまな問題の相談(24時間対応)やカウンセリング・勉強会「親塾と居場所相談会」も毎月開催するなど、子どもと家族の支援を多面的に行っています。



ボールなどを使って指示を守りながら体を動かし
ます

名 称	NPO 法人くじらぐも
活 動 時 間	毎月第1・3日曜 13:30～16:30
活 動 場 所	横浜市健康福祉総合センター(横浜市)
連絡先	TEL & FAX : 045-442-2236
ウェブ サイト	http://kujiragumo.org
会員数	60名
対象者	混合療育訓練：自立歩行ができるかそれに近いお子さん ※相談・リエゾン支援はすべての親子に対して実施
費 用	1回 会員3000円・非会員5000円 入会金5000円(1家族の入会時のみ)



たっぷり運動して汗を流
します



理事長からの
メッセージ

混合療育訓練は体・知恵・心をつくり、人と人とのつながりを育てていきます。
人を信頼できると自分を大事にできるようになりますよ。

また、混合療育訓練の場にボランティアとして参加した不登校等の中学生～青年が、自己を取り戻し学校・就労への道を拓くという成果も上がっています。どうぞ参加ください。お待ちしております。

● アンデルセン学院

成績が“中”以下の生徒指導の専門塾 親と講師がタッグを組んで生徒をフォロー

成績5段階評価で3以下の生徒向けの専門塾としてスタートしたのは1982年。当時はLD、ADHDといった言葉も一般的ではなく、学校の勉強にうまくついていけない子どもたちのための塾といった位置づけでした。

現在、障害のある子とない子の割合は半々程度。将来的に高校進学を希望する保護者が増えてきました。とにかく“1”をとらないということは進学のための最低条件。受験専門の塾ではないけれど、まじめにコツコツと努力した生徒が大学に進学し、その後自分の好きな道に進むというケースもまれではありません。生徒対講師は3:1。10年以上のキャリアを持つベテラン講師陣が手作りの教材をもとに「わかる」ことから始めて、「解ける」「できる」という自信につなげていきます。



アンデルセン学院について
アンデルセン学院は、発達障害や学習障害で、学校の勉強が苦手な子どもたちのための専門塾です。授業は、先生が丁寧に指導し、生徒が理解できるように工夫されています。また、先生が丁寧に指導し、生徒が理解できるように工夫されています。

成績が“3”または“中”以下の小学校3年生～高卒生が対象

名 称	アンデルセン学院
活 動 時 間	月～土曜（時間応相談）
活 動 場 所	金沢本部長（横浜市金沢区寺前1-17-3） 横須賀分室（横須賀市日の出町3-19-16） 横須賀三浦教育会館
連絡先	TEL：045-788-0047
ウェブ サイト	http://www.andersen-gakuin.com
対象者	発達障害全般（難聴の方の指導経験あり、要相談）のお子さん
費 用	14950円～（小・中学生授業料1か月につき）・16200円～（高校・高卒生授業料1か月につき）・教材費等実費



代表
コメント

発達障害のお子さんに勉強面を中心に指導する学習塾です。面談を通して、お子さんの将来的なビジョンを一緒に考えていきます。繰り返しの学習はお子さんを必ず成長させます。焦らずゆっくりと見守っていきましょう。

● フリースペースえん

自分を大切にする学校外の学び・生き方を支援 日本初の公設民営フリースペース

主として学校に居場所を見出せない子どもが障害のあるなしにかかわらず集まるフリースペース。NPO法人フリースペースたまりばが指定管理者として川崎市より運営をまかされています。

子どもたちは自分でやりたいことを考えプログラムを決定。楽器を奏でたり、体を動かしたりなど自由に活動し、お昼は一緒に作ったごはんやお弁当を食べます。午後は講師を招いての講座もあり、楽器演奏・演劇などを学びます。年間を通してイベントもいっぱい。「自分は独りじゃない、人とつながっていると感じることを大切にしている」と西野博之理事長。利用には登録が必要で面談・体験等を経て入会となります。



みんなで作って食べるお昼ごはんはおいしい

名 称	フリースペースえん
活 動 日 時	月～金曜 10:30～18:00 (火曜は14:00まで)
活 動 場 所	川崎市子ども夢パーク内 (川崎市高津区下作延5-30-1)
連絡先	TEL: 044-850-2055 FAX: 044-833-7534
ウェブ サイト	http://www.tamariba.org
会員数	登録者数85名 1日平均利用者数30名
対象者	小学生～(18歳以上も可)
費 用	原則無料



代表者からの
メッセージ

お昼ごはん、いっしょに作って食べています。おいしい、うれしい、楽しいでつながる場です。

● 川崎市自閉症協会 (川崎市自閉症者親の会) くさぶえの会

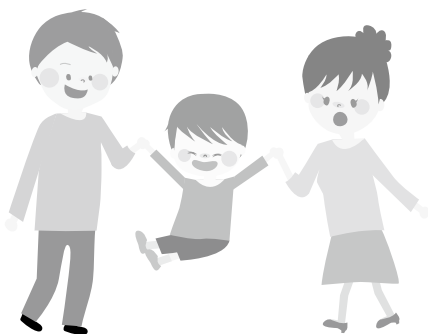
自閉症のお子さんや大人が 安心して地域で暮らせる「場づくりへ」

川崎市自閉症協会 くさぶえの会には、非常に多くの多様な会があります。

多様なニーズを持つ会員や年齢・ライフスタイルに合わせて、小学生以下の親のグループ「バンビの会」、中高生の親のグループ「つばさの会」、18歳以上の親のグループ「シフトの会」、お父さんたちのグループ「川崎おやじの会」、高機能グループ「トライアングル・K」などがあります。

幼児・小学生の親のグループ 「バンビの会」

「バンビの会」は、幼児・小学生の親のグループです。年に4～5回の勉強会を開催しております。勉強会ではグループの会員の情報交換や悩み相談を行ったり、専門家による講演を聞かせて頂いたり、進路については先輩保護者からお話をお伺いしたりできます！ また、年に1回市教育委員会との懇談会を行い意見交換も行っております。みなさん、川崎市自閉症協会「くさぶえの会」は、バンビの会をはじめとした多様な会があります。お気軽にお問い合わせください！



名 称	くさぶえの会（川崎市自閉症協会）
活 動 時 間	それぞれのグループによって異なります。
活 動 場 所	それぞれのグループによって異なります。
連絡先	TEL：080-1172-6864 （くさぶえ会事務局） FAX：044-865-5043
ウェブ サイト	http://homepage3.nifty.com/kusabue/
対象者	自閉症児・者と家族
費 用	8000円（入会金3000円・会費5000円） 3000円（賛助会員／個人）10000円（賛助会員／団体）

くさぶえの会(川崎市自閉症協会)のそれぞれの会について

くさぶえの会の各会のリストです。それぞれの会活動のお問い合わせは、くさぶえ会事務局までお問い合わせください。

バンビの会

●代表コメント

バンビグループ世代は子どもの障がいをはじめ認知し、向き合わなくてはいけない大変な時期です。子育てに対する不安や戸惑いを一人で抱えず、一緒に話し合いながら、子どもも親も安心して暮らしていけるように活動していきたいと思います。発達障がいの情報が錯綜する中、生の意見に耳を傾けてもらいたいです。

名 称	バンビの会
活 動 日 時	年4～5回（日時は事務局へお問い合わせください）
活 動 場 所	川崎市中部地区(高津区近郊会議室)
対 象 者	小学生以下のお子さんを持つ保護者
費 用	くさぶえの会 会費

体育訓練会

●代表コメント

「自閉症だってスポーツをして汗を流したい。余暇を楽しみたい。」と思っても実際は、一般のクラブチームへの参加や習い事などは難しいのが現状だと思います。くさぶえの会体育訓練会は、そんな自閉症の方々の為にあります。親子で参加が絶対条件です。体操カリキュラムは、基本的に成年向けですので、体力のない小学校までのお子さんには、リトミックからの参加をおすすめしています。

名 称	体育訓練会
活 動 日 時	年間を通して毎月第2・4日曜 柿生学園は第1日曜のみ
活 動 場 所	川崎市立下沼部小学校他
対 象 者	幼児～成人の方まで 体操（主に中学生以上） リトミック（主に小学生以下）
費 用	くさぶえの会 会費とは別に年会費3000円（1世帯につき） 団体スポーツ保険は任意加入で別途請求

つばさの会

●代表コメント

中学・高校生を持つ保護者のグループです。就労に向けて作業所や特例子会社などの見学を年に数回行っております。他には年少グループ「バンビグループ」と協力して市や県へ子どもたちの環境への要望を働きかけております。思春期の多感な時期をグループで話し合いながら活動しております。

名 称	つばさの会
活 動 時 日	不定期
活 動 場 所	川崎中部地区（高津区近郊会議室）
対 象 者	中学・高校生のお子さんのいる保護者
費 用	くさぶえの会 会費

トライアングル・K

●代表コメント

トライアングル・Kでは、会員同士が日頃の悩みや思いについて語り合いながら親睦を深めるとともに、子どものサポートに必要な情報交換をしています。周囲に伝わりにくく誤解されやすい障害のある子どもたちが地域で豊かな生活を送るために、まず私たち親が、子どもたちの特性を理解していきたいと思います。そして親自身が仲間づくりをしながら元気に楽しく活動することは、少しずつでも、周囲の理解へ結びつくことと考えます。

名 称	トライアングル・K
活 動 時 日	会員交流会（年4回程度）・会員勉強会（年3回程度）・一般参加も同時募集する公開勉強会（年1回）
活 動 場 所	川崎中部地区（溝口・武蔵小杉の市民館など）
対 象 者	自閉症スペクトラムの中でIQ70以上くらいと診断されている方やその周辺の方の親で川崎市自閉症協会（くさぶえの会）の会員の方。トライアングル・Kにのみ単独で入会することはできません
費 用	くさぶえの会 会費他に年間2000円

川崎おやじの会

●代表コメント

自閉症児者の父親同士の交流を図り、親睦を深めることを第一の目的に、近隣地域の自閉症協会の父親や障害種の異なる子を持つ父親たちとの交流も行っています。普段の生活では話しにくいことも気兼ねなく語り合える場所です。ぜひお気軽にご参加ください。

名 称	川崎おやじの会
活 動 時 日	不定期（2か月に1回程度）
活 動 場 所	溝の口周辺居酒屋等
対 象 者	くさぶえの会会員（父親）
費 用	くさぶえの会会費他に当日飲食代

● ハンディがある子どもとそのママのためのサークル「にこりん」

みんなで楽しく笑顔がこぼれる お母さんたちの願いをかなえるサークル

ハンディのある子どものお母さんたちが出会い「お話できる場所がほしい」、そんな願いから2003年、たった2組から始まったのが「にこりん」です。

麻生子ども文化センターを拠点に、毎月2回ハンディキャップのある子どものお母さんたちが集まるフリースペースを設けることから始まり、「体育館に美容師さん呼んで子どもの髪をカットしてもらおう子ども美容室」「保育サポートを頼んでお母さんたちの浴衣着付け教室を開催」、「お父さんも参加して夏祭り」などを行います。お母さんたちのやりたいことを実現させる「にこりん」の活動は共感呼び、現在は30名のお母さんたちが集まっています。HPのお知らせに参加者募集イベントが掲載されています。みなさんお気軽にご参加ください！



HP では参加者募集イベントのお知らせを見ることができます！

名 称	ハンディがある子どもとそのママのためのサークル「にこりん」
活 動 日 時	不定期
活 動 場 所	川崎市北部地域医療センター、麻生子ども文化センターほか
連絡先	nikorin@ju.ciao.jp
ウェブ サイト	http://nikorin.ciao.jp
会員数	30名（0歳～小学校低学年 2010年3月現在）
対象者	ハンディがある子どもと親・きょうだい
費 用	実費



代表
コメント

ハンディの区別をすることはなくみんな一緒に、同じ場で楽しく過ごしています。子どもはハンディがあってもなくても同じ子どもです。
一生の友達に出逢えるのが、最高の幸せだと思います。ぜひ友達になりましょう♪

● まなの樹

子どもの状態に合わせた1対1の学習指導 友達との関わり方を学ぶコースもあります

軽度発達障害児に1対1の学習指導を行っているのがまなの樹。子どもが困難を抱えている理由を理解して適した支援を行うために、学習計画はその子どもごとに作り、ひとりずつに手作り教材を用意します。

年間約45回の授業はプリント学習を基本に補助教材も使い、子どもは少しずつステップアップしていきます。土曜日のグループコースは小学生対象で、友達と上手にコミュニケーションをとる、集団行動をとる、といった練習をします。「自分でもわかる、できるという体験を少しずつ重ねることで自分なりの自信を持てるようになります」と斎藤敬子代表は語ります。



木の机が並ぶ落ち着いた教室

名 称	まなの樹
活 動 時 間	火～金曜 12:15～21:15 土曜 9:30～18:30 *授業時間はコースによって異なります
活 動 場 所	川崎市宮前区小台2-6-8
連絡先	TEL : 044-857-6581 FAX : 044-857-6591
ウェブ サイト	http://www.yuei.co.jp/mana
会員数	約70名
対象者	小学校1年生～高校3年生
費 用	小学生 9500～23500円 中学生 24000円・高校生 24500円



代表からの
メッセージ

子どもを育てるには、地域の人や第三者も関わるのが大切です。まなの樹もお子さまの成長の一助となれば幸いです。

● 横須賀市立ろう学校 教育相談 ひよこ教室

呼んでも振り向かない、言葉が遅い…… 聞こえと言葉に気がかりがある子をサポート

言葉がはっきりしない、なかなか話さない……言葉に関わる気がかりは聴覚の障害に起因する場合がありますが、年齢の低い子の場合は診断が難しいものです。親や周囲が素人判断をしてしまう前に、小さな気がかりから相談してみませんか？

横須賀市立ろう学校のひよこ教室は、聴覚に障害のある未就学児を対象に通級支援を行っている教室。通級児に限らず、広く子どもの聞こえにまつわる相談を受け付ける窓口を設けています。通級では年齢により週に1～2回の年齢別グループ教室と月に1回の個別教室での音遊び中心のプログラムを受けられます。また、「口元を見せながらゆっくり話す」など、親子の関わりのヒントも指導。聞こえに気がかりを感じたら、まずはご相談ください。



プログラムの中心となるのはどの年齢でもまずは音遊び

名 称	横須賀市立ろう学校 教育相談 ひよこ教室
活 動 時 間	月～金曜 9:00～17:00
活 動 場 所	横須賀市立ろう学校 (横須賀市森崎5-13-1)
連絡先	TEL : 046-834-1172 FAX : 046-834-0096
ウェブ サイト	http://schoolnet.edu.city.yokosuka.kanagawa.jp/schoolnet/special/251rou/index.html
会員数	上限なし
対象者	聴覚に障害のある子・聞こえに気がかりがある子
年齢層	0～2歳
費 用	無料(教材費・おやつ代別途)



音遊びをきっかけに、音のON・OFFへの認識を促します



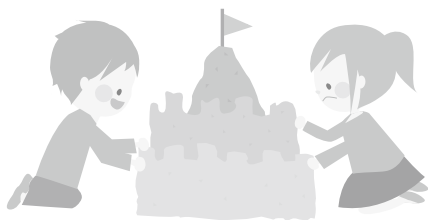
スタッフからの
メッセージ

言葉がはっきりしない、なかなか出てこないという子のなかには、聴覚に障害のある子もありますが、小さいときにはわかりにくい場合もあります。ご心配はまずはご相談ください。子ども用補聴器の相談やケアも行っています。

● 横須賀ダウン症児者の会 つくしの会

赤ちゃんから大人まで 成長のステージに合わせて皆さんを応援します

横須賀ダウン症児者の会 つくしの会は、赤ちゃんから大人まで成長のステージに合わせた5つのグループがあります。「つくしんぼグループ」は、0歳から入園前のお子さんを対象に赤ちゃん体操などをして、お子さんの発達のお手伝いをしています。もう少しお子さんが成長して遊びが活発になると「幼児グループ」へ。広場でボール遊びや手遊びなど楽しくわきあいあいと活動しています。その他にも「小学生グループ」「中高生グループ」「社会人グループ」と、お子さんの成長に合わせたグループがあつてとても心強いです。早期療育や親の勉強会、講演会や経験交流など、親睦を深めながらお子さんの発達のお手伝いをします。お気軽にお越しください！



名 称	横須賀ダウン症児者の会 つくしの会
活 動 日 時	月1回（各グループで異なりますのでお問い合わせください）
活 動 場 所	横須賀市総合福祉会館ほか
連絡先	TEL：046-827-8427（代表 若林）
会 員 数	約37名 （0歳～大人まで 2010年3月現在）
対 象 者	ダウン症のお子さんとその家族
費 用	5000円（年会費）



代表
コメント

同じ障がいの仲間にはかけがえない友達にもなります。小さい頃から顔なじみになった者同士で映画、ボウリング、野球観戦を楽しんでいる人もいます。また、親同士の情報交換、制度や政策への提言も少しずつしています。年に1度、親睦会でいろいろな世代の人と交流を深めています。

● よこすかおもいっきりあそぶ会

穴掘り木登り大歓迎！ 自由に遊べるプレーパーク

「禁止事項の多い公園ではなく、子どもたちが自由に工夫して遊べる公園が欲しい!」。メンバーのそんな思いから発足したよこすかおもいっきりあそぶ会。

木に登ったり、穴を掘ったり、たき火をおこしてマシュマロやお芋を焼いたり、ここでの「遊び」はとにかく自由! 年齢や性別はもちろん障害のあるなしも飛び越えて、「けがと弁当は自分もち」を合言葉に自分のやりたい遊びを「思いっきり」できる自由な遊び場なのです。遊びを通して子どもたちは社会性やチャレンジ精神を身につけ、自然や命の大切さを知るなどさまざまな経験をします。普段なかなかできない遊びを体験してみてください。



ウィンナーを焼いたりべっこう飴を作ったり、たき火は大人気

名 称	よこすかおもいっきりあそぶ会
活 動 日 時	不定期(2か月に1度程度・土・日曜か休暇期間の開催が主)
活 動 場 所	長さはらっぱ・元神谷農園
連絡先	非公開
ウェブ サイト	http://yokosukapp.cocolog-nifty.com/
会員数	スタッフ9名 参加者は20～330名
費 用	無料 カンパ歓迎



自由な空間で仲間と一緒に
なら、遊びはどんどん広
がります



代表
コメント

障害があってもなくてもみんな同じ。同じ価値観で楽しく遊びましょう!

● たすく

お子さまとご家族と「ずっと一緒だよ！」 家族の関わりで子どもを伸ばす療育を

「発達障害があるために学校生活や日常のシーンで抱えるつらさを少しでも軽減してやれたら」「個性を伸ばし適性を見つけて、必ず自立を目指したい」……そんな家族の思いをサポートするのが「たすく」。

ここではまず、専門家と家族、可能であれば教師や保育士など、本人に関わるすべての人を巻き込んで一日がかりのアセスメントで、子どもの特徴や認知のレベル、障害の特性を明らかにし、一人ひとりに合った療育プログラムを組み立てます。方針が決まったら月に2回、マンツーマンの課題学習。ここで弱点を補い、長所を伸ばしていくのです。たすくでは課題学習中には必ず保護者が隣で観察記録を取ることにしています。これは、保護者を「わが子のプロ」と位置づけ、家庭での療育に重きを置いているため。学習と同時に、家庭での関わりや日常生活での留意点なども指導してくれるのです。こうした指導は本人に十分な自立力が育つまで継続。そして自立後もその関わりは続きます。

「ずっと一緒に生きる」ために必



課題学習では毎回保護者の立会いが特徴。関わりを学べます

要な「つながり」を築くために、インターネットを使ったSNSも。有料パスワード制という安全性の高いコミュニティだから、同じ発達障害のある仲間づくりにも、専門家探しにも活用度大。つらさを抱えて困っている子どもたち、そしてご家族のみなさん、前向きに生きるヒントを探すなら、たすくのアセスメントがスタートラインかもしれません。



検査をしないで手術する医者はいません。一日がかりのアセスメントはいわば療育の人間ドック。ここで得られた結果をもとに、個人に合わせた療育プログラムを組み立てます。30歳での自立を目指し、そして自立後も、たすくはお子さんとご家族とずっと一緒に寄り添っていきます。

横須賀・三浦に つどろ

名 称	たすく
活 動 場 所	鎌倉市由比ガ浜2-23-15
連 絡 先	E-mail : kamakura@tasuc.com TEL & FAX : 0467-23-2156
ウェブサイト	http://tasuc.com/
会 員 数	現在75名(療育会員)、400名超(SNS会員)
対 象 者	発達障害児
費 用	30000円(1か月) 12000円(「たすくSNS」参加年会費)



アセスメントでは20種以上の教材で認知力を多面的に評価

● ひまわり教室

「できた!」「楽しい!」体験から 仲間と一緒に自信を育む教室

自閉症や学習障害など、診断を受けていないにもかかわらず、学校生活に困難を感じている子なら誰でも通えるひまわり教室。

学習からソーシャルスキルトレーニングまで、少人数のクラスで楽しく「ぼくできるんだ!」の喜びを体験することを大きな目的としています。例えば作文。テーマを与えられた自由作文でなく、「ぼくは ○○が 好きです」といった穴埋め形式にするなど、スモールステップに落としこんであるから完成させることができ、達成感を得ることができるのです。発達障害のある子が学校生活で陥りがちな孤独から救済し、低下しがちな自己肯定感をもう一度高めることがひまわり教室の支援目標。仲間と一緒に癒される、陽だまりのようにぼかぼかあたたかい教室なのです。



特別支援教育士・西野先生と学生スタッフが一人ひとりをサポート

名 称	ひまわり教室
	グループコース 月曜 16:00～17:30(低学年) 17:30～18:00(高学年) トータルコース 火曜 17:00～18:15(小4～中学生) マンツーマンコース 水曜 14:30～18:00(各自30分)
活 動 日 時	
活 場 所	鎌倉婦人子供会館(鎌倉市小町1-11-5)
連絡先	携帯 TEL: 080-6550-6398(西野)
ウェブ サイト	http://himawarikamakura.sakura.ne.jp/
対象者	学校生活を困難に感じている子・発達障害とその周辺の子(診断有無問わず)
年齢層	小学生から高校生
費 用	グループコース&トータルコース 12000円(75分) / マンツーマンコース 10000円(30分)



ソーシャルスキルトレーニング、かるたで「譲ること」を練習



代表
コメント

それぞれの子どもの特徴は特徴として受け止められるよう、お母さま方からの相談にも乗っています。自己肯定感が十分高まったとき、内面的なやる気が障害による弱点をカバーすることも。ひまわり教室に元気とやる気を身につけてください!

● カスタネット

楽しく体を動かして脳を活性化 親子で楽しめるサークルです

生の音楽に合わせて体を動かすことで、脳を活性化し知能・機能の発達を促すというムーブメント教育。1970年代にアメリカで生まれたこの理論を実践しているのが、鎌倉市で毎月一度開催されている親子参加型サークル「カスタネット」です。

カスタネットが大切にしているのは、とにかく親も子もリーダーも、参加するみんなが楽しい時間を過ごすこと。季節のイベントも取り入れながら、パラシュートや巨大風船、ビーンズバッグなどの道具も用いて笑顔いっぱいのプログラムを用意しています。代表の鴻池さんが奏でるキーボードのリズムに合わせて、子どもも大人も笑いの絶えない素敵な時間です。



大きな風船が登場すると、大人も子どもも大盛り上がり

名 称	カスタネット
活 動 日 時	第3日曜 10:00～12:00
活 動 場 所	鎌倉市立御成小学校体育館
連絡先	TEL：0467-24-4595（鴻池）
会員数	約20名
費 用	300円（1回）



パラシュートに乗って揺られるのはみんな大好き



代表者
コメント

生伴奏に合わせて楽しく体を動かしましょう。楽しい体験で脳を活性化、知能・機能の発達を促します。

● コミュニティーケア・さくらんぼ

デイケア・レスパイトケアなど 必要なサポートを個別対応で

自立支援法ではなかなか手の届かない部分のサポートを行っている葉山町のコミュニティーケア・さくらんぼ。

障害やとりまく環境によって必要となる支援はさまざまだから、活動に際して決まっているのは年会費と利用料、活動者の人数(原則2名)のみ。支援活動はできる限り現実に即した内容を目指します。

例えばデイケア・レスパイトケアなど、基本の時間・場所を超えて、緊急時の時間外や在宅での支援もケースに応じて対応可能。困ったときには電話でご相談を。状況に応じて、地域に根ざした細やかなサポートが得られます。



名 称	コミュニティーケア・さくらんぼ
活 動 時 間	月～金曜 10:00～16:00
活 動 場 所	コミュニティーケア・さくらんぼ(三浦郡葉山町長柄 1461-255 大鐘荘 101) 他
連絡先	TEL & FAX: 046-876-2700
会 員 数	約120名(利用者・活動者・支援者)
費 用	3000円(年会費)・600円(利用料1時間・時間外は1000円)



代表
コメント

障害の種類や程度、ご家庭の状況等によって、必要とされている支援はさまざま。そんな現実に対応するため、さくらんぼの支援は可能な限りの個別対応を目指しています。お困りの際にはお気軽にご連絡ください。

● サポートまつぼっくり

心身に障害のある子どもたちに いろいろな経験と楽しい生活を！

子どもたちにいろいろな経験をして、楽しい生活を送ってほしいという思いから車椅子の心身障害児の親の会としてスタートした「まつぼっくり」。NPO 法人となった現在は、ヘルパー事業所として障害児者や高齢者などの地域生活を支援しています。そんな「まつぼっくり」の余暇支援事業が「サポートまつぼっくり」。

障害がある子と保護者、ボランティアがみんなで楽しい時間を過ごすために活動しています。パソコン広場などの月例行事に加え、春はお花見、夏はサマースクールとして毎週末プールへ、冬にはクリスマス会など、季節に合わせたイベントも。さらに冬季はスキー場、夏季は海方面への宿泊企画もあります。障害はあっても楽しめることはいろいろ。とにかく思いっきり楽しみましょう！



肢体不自由でも楽しめるバيسキー、リフトに乗って上級者コースにも！

名称 サポートまつぼっくり

活動日時 不定期

活動場所 各所

連絡先 TEL：0466-43-2705 (NPO 法人湘南障害児者を守る会まつぼっくり)
FAX：0466-43-2700

ウェブサイト <http://www.npo-matubokkuri.jp/>

会員数 20 名前後

対象者 身体障害ほか知的障害児、発達障害児

年齢層 幼児～成人

費用 3000 円 (年会費)・イベント実費



夏には毎週末プールへ！辻堂海浜公園ジャンププールを多く利用



代表
コメント

冬のバيسキー、夏のプールは毎年恒例に。親も子もボランティアもみんな楽しんでます。一緒に楽しみませんか？

● ドーナツの会

元気いっぱい！ 活発に意見交換 あったか＆パワフルな定例会は子連れも OK

定例会が行われる茅ヶ崎市女性センターは茅ヶ崎駅北口から徒歩5分のところにあります。室内は広々として明るく、遊具や絵本もそろっているの、子どもが一緒でも問題ナシ。お茶菓子を持ち寄り、アットホームな雰囲気のなか定例会がスタートします。

さまざまな意見が飛び交い、ひとりが質問を投げかけると、必ず誰かが答えを返してくれる有意義な場です。子どもたちの障害はさまざまですが、ゆっくりした成長のなかで「あれができた」「これができた」とともに語り合える仲間たちがいます。

月1回の定例会のほかに、勉強会や遠足、施設見学などを行いながら、子どもや家族のより生き生きとした暮らしの実現を目指して活動中です。



名 称	ドーナツの会
活 動 日 時	定例会(月1回)他
活 動 場 所	茅ヶ崎市女性センター第2会議室 (茅ヶ崎市新栄町12-12 茅ヶ崎トラストビル4階)
連絡先	TEL : 0467-83-6089 (代表 峯尾) E-mail : nqb47817@nifty.com
ウェブ サイト	http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Momiji/8401/
対象者	茅ヶ崎市内およびその周辺地域在住者
費 用	2500円(年会費)



代表
コメント

この会では、障害のある子どもを育てている仲間たちと支え合いながら楽しく活動しています。一步一步ゆっくり子育てしていきましょう。

● 湘南おやじの会

豊富な経験と知恵を活用 おやじの視点で障害児を支援

「おやじ」ならではの視点で障害児の支援を行う湘南おやじの会。茅ヶ崎市・寒川町在住の障害児者の男親、または男性保護者が活動の中心となり、その知恵と経験を生かして安心してあたりまえに暮らせる環境づくりを目指します。

活動は土日や平日夜間が中心。月に一度の定例会のほか、年に7回企画されている連続討論会では「誰もが安心して生活できる地域を創るために」などのテーマで、ゲストスピーカーをむかえて熱く討論が交わされます。集まるおやじたちの年齢もさまざまならその子どもたちの年齢層も幅広く、経験に基づく生きた情報を手に入れることができるのです。また、茅ヶ崎市内にある「おやじの畑」では野菜の栽培なども楽しんでいます。



障害児の親でなくても、会の趣旨に賛同いただける男性は大歓迎!

名 称	湘南おやじの会
活 動 日 時	月1回(定例会)ほか土・日曜中心で不定期
活 動 場 所	茅ヶ崎市内各所・寒川町内各所ほか
連絡先	TEL : 0467-58-3512(事務局) E-mail : shonanoyaji2005@aol.com
ウェブ サイト	http://www.geocities.jp/oyaji_shonan/index.html
会員数	31名
対象者	限定なし
年齢層	30～60代
費 用	3000円(年会費)



代表
コメント

定期的な活動に加え地域行事の参加や勉強会、他団体との交流などを行っています。社会での経験豊かな「おやじ」だからこそできることがきっとある!と今後の行動を模索中です。ぜひ仲間入りして、酒でも飲みながら子どもの将来を語り合いませんか?

● 発達障害支援者の会「スペアちがさき」

地域での発達障害児の暮らしを支える 「学び」「行動する」支援者の会

Study(学び)、Understand(理解)、Personality(個性)、Empowerment(力を引き出す)、Action(行動)と英単語の頭文字から名づけられたスペアちがさき。

障害のあるなしにかかわらず一人ひとりの個性が大切にされる社会をつくることを目指しています。発達障害児者本人とその家族、そしてその支援をしたい会員から成り立つこの会。学校や社会で難しさを抱えがちな発達障害のある子の地域生活を支えています。定期的な会合で家族や本人の困りごとを相談しあったり、広く一般に発達障害の認知を広めるためのイベントを行ったり。さらに、体を動かして脳の発達を促すムーブメントの教室や学習支援教室も定期的に開催されています。入会に障害のあるなしや診断の有無は必要ありません。



発達障害について学ぶ講演会や映画上映会も一般向けに開催

名 称	発達障害支援者の会「スペアちがさき」
活 動 日 時	毎月第2金曜(定例会・親の会) 第4土曜(本人会)ほか
活 動 場 所	茅ヶ崎市内各所
連絡先	TEL : 0467-54-1258(やしろ)
ウェブ サイト	http://supea.hp.infoseek.co.jp/
会員数	約60名
対象者	発達障害全般(LD、ADHD、アスペルガー、軽度知的障害など)のある子や成人と家族
年齢層	幼児～成人
費 用	2000円(年会費)



代表
コメント

春はキッズニア職業体験、夏はデイキャンプなど子ども向けイベントも予定。ひとりで悩むより仲間との「つながり」のなかで見つかる何かを探しに来てみませんか？

● 七沢学園 地域支援課

年齢別グループの家族短期入所で 日常を離れてじっくり関わりを

厚木市の七沢学園(知的障害児入所施設・障害者支援施設)では、関連機関と連携しながら障害のある子の家庭での育ちを支える地域支援事業を行っています。

短期入所や日中一時支援、療育相談に加え、気がかりがある子と親に向けて、年齢の近い子やその家族とともに2泊3日(1泊2日)を過ごす家族短期入所プログラムも。期間中はスタッフが集団行動を行うお子さまの行動を観察、一人ひとりに合わせたアドバイスを行います。また、親は親同士、またスタッフを交えてのグループワークを通して交流を深めることができます。日常生活を離れて子どもとゆったり関わり、日ごろ後回しになりがちな気がかりをゆっくり考える機会に利用してみては？



豊かな自然に囲まれた七沢学園。家族短期入所は手前棟3階を利用

名 称	七沢学園 地域支援課
活 動 日 時	年数回(家族短期入所・セミナー) 月～金曜 8:30～17:15(療育相談)
活 動 場 所	七沢学園(厚木市七沢516)
連絡先	TEL: 046-249-2307 (七沢学園地域支援課) FAX: 046-249-2333
ウェブ サイト	http://www.n-gakuen.kanagawa-rehab.or.jp/
対象者	県内在住の言葉や発達に遅れがある子や 成人と家族(きょうだいも可)
年齢層	就学前～成人
費 用	自己負担額・実費



プログラム内の集団行動で散歩を楽しむ子どもたち



スタッフ
コメント

家族短期入所は幼児・低学年・高学年・中高生の各グループに加え、父親グループや自主グループでのプログラムも。HPやリーフレットで日程をご確認のうえ、直接お電話ください。

● 公文式つきみ野8丁目教室

「学びは生きていく基本」だから 学習面からの自立をサポート

障害のあるなしにかかわらず、できることを積み重ねる公文式。一般のお子さんと同じように障害児の受け入れを行っている教室もあります。公文式つきみ野8丁目教室もそのひとつ。

30年近くの指導経験を持つ新田やえ先生が、子どもたちの学びへの欲求をていねいにすくい、根気強く導いてくれます。公文では、学年が同じでも取り組む教材やその分量はさまざま。理解力に差がある知的障害児や発達障害児にとって受け入れやすい学習法です。やる気を持って自分で取り組むから定着につながる……として、「自分で考える」ことを大事にリズミカルな繰り返し学習を積み上げます。「普通級への通級が指導目標」とおっしゃる新田先生の力強い笑顔が印象的な教室です。



障害のある子もない子も、一緒にチャレンジできる環境

名 称	公文式つきみ野8丁目教室
活 動 日 時	水・日曜・祝日以外 10:30～21:00（曜日により開室時間に変動あり）
活 動 場 所	公文式つきみ野8丁目教室 （大和市下鶴間1473-5）
連絡先	TEL & FAX：046-293-8117（新田） ※他の受け入れ教室等お問い合わせは 0120-372-100（日本公文教育研究会）
ウェブ サイト	http://nitta-kumon.com/ （つきみ野8丁目教室） http://www.kumon.ne.jp/kumon/handicap （日本公文教育研究会 事業内容 障害児の教育）
対象者	健常児および知的障害・発達障害児
年 齢 層	0歳～
教 科	算数・数学、国語、英語
費 用	幼児・小学生 6300円、中学生 7350円、 高校生 8400円（月謝・1教科あたり）



保護者との信頼関係のため、定期的に個人面談を行う新田先生



代表
コメント

一人ひとりの可能性を発見するには長年の経験に助けられることが多いです。力を入れてきた幼児への取り組みが知的・発達障害の子への指導に役立っています。可能性を最大限に伸ばすチャレンジを一緒にいかがですか？

● 座間キャラバン隊

障害のある子どもを理解するための公演活動を展開、その活動は、全国にも広がっています

座間キャラバン隊は、障害児のお母さんたちが、障害のある子どものことを知るきっかけにしてほしいと始めた活動です。

キャラバン隊の公演は「明るく、楽しく、元気に、簡単に、わかりやすく、誇りをもって」をモットーに、紙芝居や障害の疑似体験を取り入れ、子どもでもわかりやすく退屈させない工夫が凝らされています。平成15年に始まったキャラバン隊の活動はメンバーも予想をしなかった大反響！メディアにも注目され、いまや全国各地にキャラバン隊の活動が広がっています。メンバーの皆さんは、公演参加者からの感想や励ましのお便りを力に「やさしさの輪」を広げ続けています。



キャラバン隊の活動がよくわかる一冊です。興味のある方はぜひ！

名 称	座間キャラバン隊
活 動 時 間	不定期
活 動 場 所	県内の小中学校など
連絡先	TEL & FAX : 046-257-3813 (代表 敷島)
ウェブサイト	http://zama-caravan.com/
会員数	5名



コメント

座間キャラバン隊の活動が本になりました(『障害のある子って、どんな気持ち？—見て、聞いて、体験して、知ろう!—』ぶどう社)。公演の様子を収めたDVDも同時に販売されています。みなさんの学校・地域・親の会の活動等でも、ぜひお役立てください。ホームページから、公演のお問い合わせも受け付けています。

● 座間地区自閉症児・者親の会「座間やまびこ会」

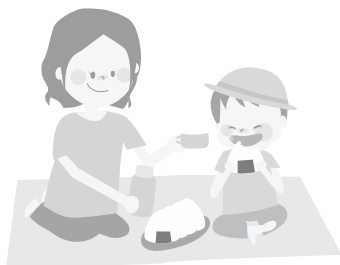
お父さんも、お母さんも、親子でわきあいあい!!
地域で支える親の会です!

座間やまびこ会は「神奈川県自閉症児・者親の会連合会」の構成団体として、自閉症児・者とその家族を支援するため、情報交換会、勉強会など、さまざまな活動を展開しています。また、先輩お母さんと新米ママの交流会や夏季キャンプ、父子キャンプ、自閉症児・者作品展など、年間を通じてたくさんのイベントがあります。定例会は地域のお母さんたちが飲み物やお菓子を持ち寄り、いつも和やかな雰囲気です。



HP ではイベントのお知らせを見ることができます!

名 称	座間地区自閉症児・者親の会「座間やまびこ会」
活 動 日 時	HPでご確認ください
活 動 場 所	サニープレイス座間ほか
連絡先	TEL : 046-254-4971 (代表 外川)
ウェブサイト	http://yamabikoclub29.web.fc2.com/
会員数	26家族
対象者	座間市、綾瀬市在住の自閉症児・者家族
費 用	年会費6500円(日本自閉症協会、神奈川県自閉症協会、神奈川県自閉症児・者親の会連合会の年会費を含む)



代表
コメント

わが子が地域社会の中で安心して暮らせるようにともに学び、時に励ましあい、子どもたちの周りに支援の輪を広げていきましょう。「ひとりじゃない」と頑張れることがたくさんありますよ!

神奈川県域には、各地域に「親の会」があります。お近くの親の会にお気軽に声をかけてください。

神奈川県自閉症協会（神奈川県自閉症児・者親の会連合会）

名称	地区	問い合わせ先
相模原地区自閉症児・者親の会（相模原やまびこ会）	相模原市・愛甲郡	info@sagami-yamabiko.jp org
藤沢市自閉症児・者親の会（藤沢やまびこ会）	藤沢市	info-fujisawa@kas-yamabiko.jp org
茅ヶ崎地区自閉症児・者親の会（茅ヶ崎・寒川やまびこ会）	茅ヶ崎市・高座郡	aaron3518@nifty.com
平塚地区自閉症児・者親の会（平塚やまびこ会）	平塚市・中郡	qqsw9dw9k@yacht.ocn.ne.jp
横須賀地区自閉症児・者親の会（たんぼぼの会）	横須賀市・逗子市・三浦市・葉山町・鎌倉市	asaba_aim@ybb.co.jp
座間地区自閉症児・者親の会（座間やまびこ会）	綾瀬市・座間市	keitokaka@guitar.ocn.ne.jp
秦野伊勢原地区自閉症児・者親の会（秦野伊勢原やまびこ会）	伊勢原市・秦野市	info-hataise@kas-yamabiko.jp org
大和市自閉症児・者親の会（大和やまびこ会）	大和市	info-yamato@kas-yamabiko.jp org
厚木市自閉症児・者親の会（厚木やまびこ会）	厚木市	egaoga2ban-396@infoseek.jp
海老名市自閉症児・者親の会（海老名やまびこ会）	海老名市	rie-na1967@w4.dion.ne.jp
県西地区自閉症児・者親の会（県西やまびこ会）	小田原市・南足柄市・足柄上郡・足柄下郡	info-kensei@kas-yamabiko.jp org

● NPO 法人 発達障害の会「神奈川オアシス」

その子、その人らしく生きられる社会を目指して
ともに活動していきましょう！

「神奈川オアシス」は ADHD（注意欠陥多動性障害）や LD（学習障害）、アスペルガー症候群など、発達障害のある方の親、当事者、支援者が、情報交換や話し合いなどを通して協力し、活動を行う NPO 法人です。また、講演会や勉強会などで、正しい知識の普及や教育・福祉の向上をはかります。

代表の横倉さんは、立ち上げ当時は振り返ります。「当時は、近年のように ADHD や LD に対する周囲の理解もなければ支援もなく、情報を集めることにはかなり苦勞を強いられました。それでも、ここで私が諦めるわけにはいかない。近くに会がないなら自分で作るしかない、会を立ち上げる決心をしました」。会員一人ひとりが得意なことやできることを少しずつ協力し合い、お互いの違いを認め、思いやり合いながら、「もう、これ以上、親と子が傷ついてつらい思いをしないように！」という思いを胸に活動しています。

あなたらしく

誰にでも 欠点もあれば 長所もある
障害のある人たちも それは同じ
得意な事 苦手な事 好きな事 嫌いな事も
誰にも みんな あるはず
あなただから できること
あなたにしか できないこと
みんなと違うから あなたらしい
だれでも 輝く力を持っているよ

By moon

勇気づけられる詩です！

名 称	NPO法人 発達障害の会「神奈川オアシス」
活 動 時 日	主に火曜（その年により変更します）と日曜の午前中 研修活動やイベント等は不定期
活 動 場 所	相模原市と東京都町田市を中心に活動
連絡先	HPより問い合わせ
ウェブ サイト	http://www.rak2.jp/town/user/oasisuclub/
会員数	個人会員18名と1団体
対象者	ADHD、LD、アスペルガー症候群などの発達障害のあるお子さんのご家族や支援者
費 用	1000円（入会金）・3000円（正会員／年）・2000円（準会員／年）・2000円（賛助会員（個人会員）／年）・10000円（団体会員／年）※研修やイベント等は、別途参加費が必要になります



代表
コメント

神奈川オアシスは、ADHD、LD、アスペルガー症候群などの発達障害の会です。会の趣旨に沿って一緒に活動してくれる方、活動の支援をしてくださる方からのご連絡をお待ちしています。

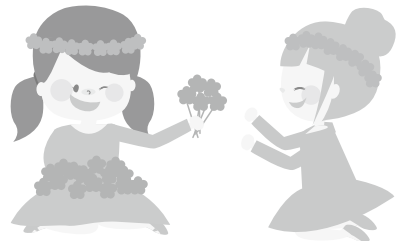
● えじそんくらぶの会 神奈川 eko

ADHD の正しい理解の促進を！ 懇談会は少人数でアットホームな雰囲気

神奈川ekoは、ADHDの正しい理解の促進と自立への道を支援する「NPO法人えじそんくらぶ」の設立趣旨に沿って活動をしている団体です。ADHDの子どもや人は、発達にアンバランスさがあることで、いろいろな生きづらさを感じながら過ごしています。

神奈川ekoは、その問題の解決に向けて関係団体や支援者と協力しながら、ADHDに対する正しい知識の普及や指導者養成など社会教育を中心に行うことで、障害に対する理解や支援のある、普通に暮らせる地域社会づくりを目指して活動するために立ち上げられました。

毎月1回程度行われる神奈川オアシスの会との合同懇談会では、それぞれの個人が感じる困難さなどに配慮した助言や情報があり、少人数でアットホームな雰囲気の中、ホッとひと息つきながら話し合いをしています。



名 称	えじそんくらぶの会 神奈川eko
活 動 日 時	懇談会（食事会の時もあり）主に日曜の午前中 講演会や会員限定の勉強等は不定期
活 動 場 所	相模原市と東京都町田市を中心に活動
連絡先	HPより問い合わせ
ウェブ サイト	http://www.rak1.jp/one/user/eko/
対象者	ADHDのお子さんのご家族や当事者または支援者で、えじそんくらぶ会員の方
費 用	入会金2000円～ 年会費500円～（会員種別・入会時期により異なります） ※別途参加費が必要なことがあります



代表
コメント

もしかしたら「わが子が？ 自分が？ ADHDかもしれない」と不安を感じている方も、支援者の方も、みんなで心と力を合わせ、明るい未来に向かって一緒に活動していきましょう。

● NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川

スポーツを通じて知的発達障害者の社会的自立を支援 競い合うためではなく、日常のトレーニングとして

1960年代、故ケネディ大統領の妹が発起人となって活動が始まったスペシャルオリンピックス(SO)。知的発達障害者にもスポーツを楽しむ機会を提供したいというこの運動は、1980年に日本に導入され、神奈川県では1995年に藤沢でスタートしました。

SOは競い合ったり、ひたすらレベルを上げることが目的としているわけではありません。親や学校関係者とだけ接していた障害児がボランティアやアスリートの仲間たちと毎週会うことで、世界が広がり、経験を積んでいくのです。

日常的なトレーニング以外に、毎年地区競技会を開催、4年ごとに夏季および冬季のSO世界大会、全国大会を開催するなどして、日々の成果を発表する場を設定しています。アスリートやその家族は社員会員が賛助会員になり、その年会費(社員会員の場合は入会金も)のみで毎週または2週間に1回のトレーニングに参加できます(別途利用料等がかかる場合あり)。コーチはすべてボランティア。会社勤めの方やリタイア



サッカー

された方、学生の方などが活躍しています。競技に精通している必要はなく、SOや知的発達障害者への理解が第一。コーチになるためのプログラムもありますので、スポーツを通じて障害者と触れ合いたいとお考えの方はぜひご連絡を!



ボウリング



代表
コメント

知的発達障害のある人たちに日常的なスポーツトレーニングの場と競技会を提供し、彼らの自立と社会参加を応援しています。多くの仲間がボランティアと一緒にスポーツを楽しんでいます。初心者でも大丈夫です。ぜひ一度見学にいらしてください。

名 称	NPO法人スペシャルオリンピックス日本・神奈川
活 動 日 時	年間を3期に分けて毎週活動(1期/1～3月・2期/5～7月・3期/9～11月)
活 動 場 所	県内27会場(水泳・バスケット・陸上・卓球・テニス・ボウリング・サッカー・スピードスケート・フィギュアスケート・スキー・フロアホッケーの11競技)
連 絡 先	住所：横浜YMCA4階(横浜市中区常盤町1-7) TEL：045-650-5216 (担当 八重沢典子)
ウェブサイト	http://www.son-kanagawa.com/
対 象 者	知的発達障害のある6歳以上の人
費 用	社員会員/5000円(入会金)・5000円(年会費) 賛助会員/3000円(年会費)



全国大会の表彰式で

● ハーモナイズ中山 (横浜市中山地域ケアプラザ障がい児余暇支援事業)

知的障害のあるメンバーが汗を流す アダプテッドエアロビック

知的障害のあるメンバーがエアロビックダンスに取り組んでいます。90分の活動は、会場の準備から始まり、挨拶、入念なストレッチ、腹筋・背筋・腕たて伏せ、かえる跳びのあとエアロビックダンス、片付けとなかなかハードな内容ですが、メンバーは真剣です。

平成15年から活動を始め、今では発表会にも参加する腕前。講師の関口美恵子先生は「障がいのある方を中心にして個人の運動能力に合わせて楽しめる運動が“アダプテッドエアロビック”です。どうぞ体験してみてください」と話されます。日程は変更になることもあるので問い合わせを。まずは体験をどうぞ。



メンバーみんなが心を合わせエアロビックダンスを仕上げます

名 称	ハーモナイズ中山(横浜市中山地域ケアプラザ 障がい児余暇支援事業)
活 動 日 時	毎月第1日曜 14:45～16:15
活 動 場 所	ハーモニーみどり (横浜市緑区中山町413-4)
連絡先	TEL: 045-935-5694 (横浜市中山地域ケアプラザ) FAX: 045-935-5695
ウェブ サイト	http://www.hama-wel.or.jp/office/nakayama/
会員数	18名
対象者	知的障害のある方 10代から
費 用	3500円(半年分)



スタッフからの
メッセージ

施設内の活動に加えて、発表会「アダプテッドエアロビック ナショナルフェスタよこはま」に出場するなど、積極的に活動しています。エアロビックダンスに興味がある方、ぜひご参加ください！お待ちしております。

● アダプテッドエアロビックナショナルフェスタ よこはま

**障害の有無や年の差を超えて
幼児から高齢者まで皆で楽しく！**

アダプテッドエアロビックの普及は、1998年10月、「全国スポーツレクリエーション祭」へ知的障害のある方を神奈川県代表チームとして派遣したことがはじまりです。アダプテッドエアロビックとは「障害のある方を中心に、幼児から高齢者までの個人の運動能力に合わせたエアロビック」のことです。アダプテッドエアロビックナショナルフェスタよこはまは、老若男女や障害を問わず「笑顔あふれる」仲間づくりの場となり、一人ひとりが舞台上で一番素晴らしく輝ける喜びの場になることを目的に開催しております。



本格的な舞台上でこれまでの練習の成果を披露します！(写真提供：kaf)

名 称	アダプテッドエアロビックナショナルフェスタよこはま (神奈川県エアロビック連盟)
活 動 日 時	年2回開催(10月と3月) (詳細はHPよりご確認ください)
活 動 場 所	障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール 神奈川県エアロビック連盟事務局／平野
連絡先	TEL & FAX : 0467-77-3708 E-mail : kaf-event@kir.jp
ウェブ サイト	http://kaf.kir.jp/
費 用	1800円／人(変更あり)



代表
コメント

誰でも出来るエアロビックの事業に、多くの方にご参加いただきたいと思います。
ご興味のある方は、ぜひご連絡お願いします。
また、随時参加出来るサークルもありますのでお問い合わせください。

● バリアフリーバレエ「エンゼルクラス」

女の子の憧れバレエで 体力・リズム感向上を！

主に知的・発達障害のある子によるバリアフリーバレエ。その先駆者のクラスが、横須賀市追浜の伊与田バレエスタジオで開催されているエンゼルクラスです。

現在ではコンクールも開催されているこの部門で日本初となるクラスは、スタジオを主宰されている伊与田あさ子先生のお嬢さま・未亜さんの知的障害がきっかけで始まりました。一人ひとりの感性を見抜き、それぞれに合った目標を設定。バレエの動きを分解して繰り返し教えながら、飽きないように面白く、楽しく……未亜さんと二人三脚で試行錯誤を続けた先生ならではのノウハウが詰まった充実したクラスとなっています。



童謡など身近な音楽に合わせて楽しくレッスン

名 称	バリアフリーバレエ「エンゼルクラス」
活 動 日 時	土曜（クラスⅠ（幼児）10:00～11:00 クラスⅡ（ジュニア）11:00～12:30）
活 動 場 所	伊与田バレエスタジオ （横須賀市追浜町1-37-18）
連絡先	TEL：046-865-8070
ウェブ サイト	http://www.asa-twinkle.com/
会員数	各クラス9名
対象者	知的障害・自閉症
年齢層	4歳～
費用	3000円（月謝）



ジュニアクラスでは本格的なバレレッスンも



代表
コメント

知的障害がありながら独特の音楽的な感性を持つ娘・未亜も在籍するクラスです。楽しく面白く、お子さまの無限の可能性を伸ばしたいと思っています。

● かまくらつばさFC

自閉症、LD、ADHDなど発達に 難しさのある子たちのサッカークラブ

自閉症、アスペルガー症候群、LD、ADHDなど、抱える障害もさまざまなら、悩みもいろいろ。だけど、みんなでサッカーしたら楽しいよ！という会が「かまくらつばさFC」。

月に1度、第1日曜日の午前中に鎌倉市内の小学校体育館に集まって認定資格を持ったコーチによる指導のもと、サッカーの練習をしています。男の子も女の子も、年齢も飛び超えて、ひとつでも多くの「できた！」が見つかることを目標に、お父さんお母さんも一緒に練習に参加しています。年に数回、普段の練習の成果を試すために交流試合も。一緒にサッカーで汗を流しませんか？



名 称	かまくらつばさFC
活 動 時 間	第1日曜 10:00～12:00
活 動 場 所	鎌倉市立富士塚小学校体育館
連絡先	TEL：0467-47-5808（青木）
会員数	約20名
対象者	知的障害・発達障害（肢体不自由児は除く）
年齢層	園児～中学生
費 用	700円（1回）



代表
コメント

たくさんの仲間が待っています。一緒に思いっきり汗を流しましょう！

● セントモニカスイミングクラブ

運動不足解消、社会生活の訓練に 親子で楽しくスイミング

大和市・南林間駅の大和学園聖セシリア内にあるセントモニカスイミングクラブでは、知的障害者のためのコースを開催しています。

中学生以上のMコースは子どものみとなりますが、小学生以下の親子向けには親子でプールに入るPMコースが。週に2度、水曜日と土曜日の午後に開かれるこのコースでは、親子で水中運動を楽しむことができます。コーチと子どもの信頼関係を大切にするセントモニカだから、PMコースでも子どもたち一人ひとりのペースを大切にクラスが進みます。入会時には面接で適性を見極めてからのスタート、さらに1日無料体験や1か月体験(4回・3150円)なども。笑顔いっぱいの楽しいクラスを、ぜひ覗いてみてください。



子どもも親もコーチも一緒になって楽しむのがモニカスタイル

名 称	セントモニカスイミングクラブ
	Mコース(中学生以上) 土曜 16:45～18:00
活 動 日 時	PMコース(小学生以下の親子) 水曜 14:45～15:45 / 土曜 14:00～15:00
活 動 場 所	大和学園聖セシリア内セントモニカスイミングクラブ(大和市南林間3-10-1)
連絡先	TEL: 046-275-6101 FAX: 046-275-6104
ウェブ サイト	http://www.st-monica.co.jp/
対象者	知的障害児
年齢層	就学前～
費 用	6300円(入会金)・週1回: 6825円 / 週2回: 8400円(月謝)



トンネルを使って潜水練習。水慣れが難しい子のペースに合わせます



メンバーからのコメント

陸の上では思い通りに体を動かすことが難しくても、水中なら思う存分運動可能。毎週定期的に体を動かすことができ、子どもも喜んで通っています。しっかり泳ぐと夜もぐっすり眠れるみたい。

● NPO 法人CMD ゆうゆう 親子ムーブメント教室

カラフルな遊具を使った運動遊びで親子ともに育ちあう ムーブメント教育・療法に基づいた親子教室

ムーブメント教育・療法は、主に学習障害や発達障害のある子どもたちを対象に運動遊びなどを通して発達を支援する学問です。CMD ゆうゆうはムーブメント教育・療法に基づく親子教室を開催しています。

教室は一人ひとりの名前を呼んで始まり、スカーフ、フープ、パラシュートなどの遊具を使いながら親子で体を動かします。それぞれのプログラムには子どもに合わせた達成課題がありますが、子どもたちはにこにこ楽しんで遊びながら課題に挑戦しています。親子教室のほかに絵やダンス等の身体表現ワークショップも開催。活動案内・参加申し込みは活動ブログから。



スカーフなど遊具はカラフルで自然に子どもの手が伸びます

名 称	NPO 法人CMD ゆうゆう 親子ムーブメント教室
活 動 日 時	水または木曜 10:00～12:00 日曜 10:00～12:00
活 動 場 所	相模原市内公民館など
連絡先	携帯TEL：090-4438-4058 (代表 瀧本) E-mail：cmd.youyou@gmail.com
ウェブ サイト	http://youyou-canvas.jugem.jp/
会員数	約30名
対象者	水・木曜は1～3歳児の親子 日曜は小学生親子(きょうだい参加や年齢、障害の有無など相談可)
参加費	子ども1人につき1回500円



パラシュートでポンと宙に浮かぶと大興奮



スタッフからの
メッセージ

一緒に遊んであたま・からだ・こころを育もう!!
気軽に遊びに来てください!

● 横浜市民ギャラリーあざみ野

楽しく参加できるアートプログラムがいっぱい 私も僕も、ちょっと芸術家気分

ここは創造的な表現活動を通じて、人と人が交流する場。老若男女を問わず、多くの人たちが訪れています。3階アトリエでは、年間を通して子どものためのプログラムを開催しています。そのひとつに「親子で造形ピクニック」があります。個別支援学級、特別支援学校等に通う子どもたちとその家族や友達が参加して、粘土や絵の具、紙などで自由に遊ぶことができます。

絵の具を使って窓ガラスや床にも思いきり描くことができるとあって、子どもたちはいつも大喜び。土粘土を裸足でペタペタ踏んだりする子どもの姿も。そのほか、参加して楽しむ子どものための展覧会「あざみ野“夏の”こどもぎやらいい」など、定期的に展覧会やコンサートなどを行っています。



好きな色をたくさん使って遊んじゃおう!



あっぱれ! 子どもたちの創造性



横浜市民ギャラリーあざみ野にあそびにきませんか。絵の具や粘土、紙などで、親子で自由に描いたりつくったりしながらゆっくりと過ごせます。今日は何であそぼうかな。好きなあそびを見つけてみましょうね。

名 称	横浜市民ギャラリーあざみ野
住 所	横浜市青葉区あざみ野南1-17-3
電 話 番 号	TEL : 045-910-5656 FAX : 045-910-5674
ウェブサイト	http://www.yaf.or.jp
交 通	あざみ野駅より徒歩5分
駐 車 場	あり(有料)

子どものためのプログラム「親子で造形ピクニック」

開 催 日	5/15(土)・6/5(土)・7/10(土)・8/7(土)・9/11(土) ※平成22年度の予定です。10月以降も開催予定
開催時間	各日10:00～12:00
費 用	4歳以上の子ども1人につき100円(参加費)
対 象	個別支援学級、特別支援学校等に通うお子さんとその保護者、ご家族、お友達
定 員	各日20組程度
申込方法	往復はがき、ホームページの申込みフォーム、直接来館で、各日開催日の10日前までに事前申込み



● ART LAB OVA (アートラボ・オーバ)

何をやっても、何もやらなくてもOK まったり脱力、へんてこアート

アーティストのグループが主体となって運営しているアートラボ・オーバは1996年に活動開始。2001年に桜木町駅からほど近いところにアトリエをオープンしました。

アトリエと名がつくので一般的な絵画教室をイメージするかもしれませんが、絵を教えてくれるわけではありません。場をセッティングしているだけ。そこにあるテーブルで絵を描けばアトリエに、お茶を飲めばカフェになり、壁をギャラリーと呼んでいるのです。頭で考えるとわかりにくいですが、実際にその空間に足を運べば、なんとなく理解できてしまうから不思議。福祉施設への出張オファーも多く、そこでも展開は同じです。画材を用意し、それを出して場をセッティング。最重度の障害があろうが、健常者であろうが、それぞれに文化があり、それぞれに価値があるのだということを改めて気づかせてくれる、電車の音が響くアトリエです。



アトリエ? カフェ? スタジオ? “13坪のアートセンター”は多目的のアートスペース

名 称	ART LAB OVA (アートラボ・オーバ)
住 所	横浜市中区桜木町3-13 大島ビル5階
連絡先	E-mail: artlabova@dk.pdx.ne.jp
ウェブ サイト	http://artlabova.org
ブログ	http://plaza.rakuten.co.jp/artlabovagoods/
交 通	桜木町駅より徒歩3分
駐車場	なし
営 業 時 間	火曜 14:00～17:00 (うち2時間) 土・日曜・祝日 14:00～16:00
休 日	活動日は随時 (要予約・応相談)
費 用	2500円 (年会費)・1500～1800円 (2時間まで)



何をやってもいいんです!



障害福祉のプロではなく、人間関係の付き合いのなかで個々人をわかり、障害の特性を理解してきた人たちの集まり。作品ができて上がるかどうかではなく、そのプロセスを大事にしてくれる空間です。

● かれんアートクラブ

ゆったりとした時間のなかで 自分のペースで自由に描く絵のワークショップ

大倉山駅からすぐのギャラリー奥のスペースで開かれている絵画教室。障害の有無にかかわらず子どもも大人も楽しんで描いています。水彩絵の具、アクリル絵の具、色鉛筆など好きな道具で、テーマも自由に選んで制作。4時間のなかで自分のペースで創作活動できるのが参加者には大きな魅力のようです。チケット制で参加するペースも自由。2人の指導者はやさしく見守りながら制作指導をしてくれます。指導者・南芳枝さんは「自分を表現することで気持ちが開放されるのは障害のあるなしに関係なく共通ですね」と語ります。1年に1回、隣のギャラリーで作品を発表します。



個性あふれる作品が生まれます

名 称	かれんアートクラブ
活 動 時 間	毎月第2・4土曜 13:00～17:00
活 動 場 所	「ギャラリーかれん」奥 (横浜市港北区大倉山1-11-4)
連絡先	TEL & FAX: 045-543-3577
ウェブ サイト	http://karen.or.jp/art/artkaren-artclub.htm
会 員 数	登録者50名 参加者10～15名
費 用	1回1200円・5回5000円のチケットあり (障害者手帳お持ちの方 1回1000円)



スタッフからの
メッセージ

障害のあるなしにかかわらず子どもから大人まで楽しく絵を描くスペースです。
みなさんご参加ください。

● 作って遊ぼう! ぐるるんば

みんなで楽しむことを大切に…… 「作って遊ぶ」アートスペース

毎回、講師が考えたテーマに沿って参加者がみんな一緒に制作を楽しむ会が「作って遊ぼう! ぐるるんば」。

少し曲がってしまったり、時間がかかってしまったりしながらも、みんなで助け合う事、違いを認める事を大切に活動しています。ときには参加者のお父さんが講師になったり、参加する子どもたちに合わせて内容も変えてみたり……そんなアートホームであたたかな集いの場を続けてきました。子どもたちの成長に合わせて、参加メンバーも「ぐるるんば」も変わります。一緒に「作って遊ぶ」を楽しみませんか?



平成21年12月の神奈川県障害者文化芸術祭に出展した作品です

名 称	作って遊ぼう! ぐるるんば
活 動 時 間	第1日曜 10:00～12:00
活 動 場 所	鎌倉市福祉センター 1階ブレイルーム
連絡先	TEL & FAX: 0467-22-6886 (NPO法人「鎌倉市手をつなぐ育成会」)
会員数	105名(「鎌倉市手をつなぐ育成会」会員)
年齢層	年長から小学6年生
費 用	300円(育成会会員)／500円(会員以外) ※介護者・保護者は無料



代表
コメント

NPO法人「鎌倉市手をつなぐ育成会」の活動のひとつとして、みんなで制作することを通してルールを学び、コミュニケーション力を養う場となってきました。育成会では平成21年秋から第3日曜日に作業療法士の支援による遊びの場「チャレンジャー」も開始。ほかにも「音楽療法」「プール」「和太鼓」など障害児の余暇支援を行っています。



● 男女共同参画センター横浜北 (アートフォーラムあざみ野内)

女性がより自分らしく生きるために 就労・健康・育児など多方面からサポート

性別や年齢、障害のあるなしにかかわらず、誰もが豊かな人生を送ることを支援し、その活動および交流の拠点づくりを目指す市民利用施設です。情報提供を行う一方で、相談や講座などの事業にも積極的に取り組んでいます。



子どもの部屋には保育室と親子で交流できる広場があります

◎子どもの部屋（問い合わせ：045-910-5724）

◎一時保育（1歳6か月～未就学児、予約制、有料）

アートフォーラムあざみ野を利用する間、子どもたちも安心して楽しい時間が過ごせるための保育です。障害児の保育は経験のあるスタッフが行います。

◎親子のひろば（火・水・金・土・日曜 10:00～16:00、予約不要、親子1組 300円）

0歳から小学校入学前の子どものでにぎわう、親子が一緒に過ごせるスペース。オープン時間内であればいつでも利用できます。

◎自助グループミーティング（問い合わせ：045-910-5700）

同じ悩みを抱える仲間がミーティングなどの場で体験を分かち合いながら支え合うための自主的な活動をするのが自助グループ。ミーティングは対等な関係の中で話したいことだけを話し、話さずにそこにいるだけでもいい場で、参加対象者であれば誰でもいつでも参加できます。



安心して自分の時間を過ごせるよう、ほとんどの事業に保育がついています。ぜひご利用ください。

- マザーズ・ジャケット（第2月曜＜祝日の場合は第3月曜＞10:00～12:30）
障害児を持つ母親たちがグループメンバー。障害児者の家族や関係者がさまざまな視点を持って、自分らしく生きていくために集まり、気持ちを分かち合います。
- あではで「あおば談話室」（第1火曜 10:00～12:30）
ADHDとその周辺の発達障害のある子の親と成人本人が、お互いに悩みや経験を話し合う場。
- ◎なかまの相談（問い合わせ：045-910-5700）
経験を積んだ自助グループ等のメンバーが、体験者として対等な立場で情報提供などを行う相談です（相談専用電話：045-910-5765）
- 「障害のある子との暮らし・子育て相談」（第2水曜 10:30～12:30）
担当：ともいくクラブ
- 「子育て期の相談」（第2木曜 10:00～12:00）
担当：NPO 法人ひだまりの森

名 称	男女共同参画センター横浜北（アートフォーラムあざみ野内）
活 動 日 時	本文参照
活 動 場 所	アートフォーラムあざみ野（横浜市青葉区あざみ野南1-17-3）
連 絡 先	TEL：045-910-5700 FAX：045-910-5755
ウェブサイト	http://www.women.city.yokohama.jp/
対 象 者	活動により異なるので問い合わせを
費 用	活動により異なるので問い合わせを

● 共働舎

園芸・パン作り・陶芸で 地域住民と交流

共働舎では1990年の開所当初から、園芸、パン作り、陶芸を、障害者の人生を豊かにする手段として位置づけ、製作や販売の支援をしています。

地域の方々に向けた地域活動支援事業は、

- ①小麦作りから始めるパン教室、
- ②ビオトープから身近な環境を考える～とんぼガーデン観察隊、
- ③健骨健脳体操の3種類。

①は自家生産、自家製粉した小麦を使っのパン作り教室。②は共働舎のビオトープを使い、生き物の視点から地域の自然環境を考えます。③では体と脳を刺激して楽しく体操します。①②は親子連れで参加する方が多く、③は主に40～60代の方々が気持ちよく汗を流していますよ。



入口の石窯が目印

名 称	共働舎
活 動 時 間	①「小麦作りから始めるパン教室」 第4土曜(2か月に1回) ②「ビオトープから身近な環境を考える～とんぼガーデン観察隊」 第4土曜(2か月に1回) ③「健骨健脳体操」 第4土曜(毎月)
活 動 場 所	共働舎(横浜市泉区中田西1-11-2)
連絡先	TEL: 045-802-9955 FAX: 045-804-4122(担当 鈴木康介)
ウェブサイト	http://www.hirakukaicp.or.jp/
費 用	①500円・②③200円(参加費1回につき)



代表
コメント

共働舎は知的障害者を主な対象者とした施設で、利用定員は60名となっています。横浜市の助成を受けて実施している「地域活動支援事業」は、障害者施設が地域に向けて、その専門性を生かした独自事業です。障害の有無を問わず、ぜひご参加ください。

<障害者の施設とその取り組み>

現在、障害者の施設では、利用契約をしている利用者への福祉サービス以外にも、地域に開かれた施設づくりを目指して、いろいろな取り組みが行われています。その内容は、自由に施設を利用できるよう、施設の一部を開放したり、支援のノウハウを講座や研修で提供したり、利用者の方々の普段の活動を生かした事業を展開したりと、実にさまざまです。

ここで紹介した共働舎さんの事業もそのひとつです。皆さんのお住まいの地域にもこうした一般向けの事業を提供しているところがあると思いますので、ぜひ探してみてください。

神奈川県では、県の指定を受けている障害福祉施設の一覧をホームページで調べることができます。

「障害福祉情報サービスかながわ」 <http://www.rakuraku.or.jp/shienhi/>



● 金沢地域活動ホーム りんごの森 おもちゃ文庫室

障害のある子もない子も利用可能 遊びを通じたたのしい交流拠点

地域活動ホームは障害のある方の地域での生活を支えるために、横浜市独自に設置された拠点施設。相談支援や一時預かりなどの事業とともに設置されているのが「おもちゃ文庫」です。文庫は障害のある子どもたちがおもちゃで遊ぶという経験を通して地域で心豊かに育つことを願って開かれています。また、文庫は出会いの場としての機能も果たし、障害のある子同士、そしてその家族同士をつなぐ場でもあります。

さらに、りんごの森では、部屋の利用を発達に不安のある子のための時間「りんごタイム」と、すべての子が利用できる「フリータイム」に分けて、地域に暮らす障害のある子どもとない子どもをつなぐ役割も果たします。気軽に、かつ有益に利用できる文庫室を目指しているのです。事前におもちゃを消毒、安全を確認したうえで開室。ときに職員が絵本の読み聞かせを行ってくれたり、月に1度イベントも開催されているのでご確認を。



日当たりのよい文庫室にはトイレも完備。ゆったり遊べます

名 称	金沢地域活動ホーム りんごの森 おもちゃ文庫室
住 所	横浜市金沢区能見台東2-4 能見台ふれあい館1階
連絡先	TEL：045-784-2709 FAX：045-784-2758
ウェブサイト	http://www.suminasu.or.jp/lingo/support.html
交 通	能見台駅より徒歩5分
駐車場	なし
時 間	10:00～16:30 (受付は15:45まで)
休 日	不定期
料 金	無料



スタッフからの
メッセージ

りんごタイムとフリータイムのスケジュールなど、毎月の予定はホームページにもアップされています。予定表から足を運びやすい時間にぜひ遊びに来てください。月に1度のイベントもおおすすめです。

● サポートセンター連

障害児者が地域で安心して生活するために 福祉サービス提供の拠点

サポートセンター連は、横浜市が各区に整備を進めている障害者地域活動ホームのひとつで、2007年10月に開所。相談支援、日中活動支援、生活支援の各事業はすべての活動ホームの基本柱となっており、サポートセンター連でも同事業を展開しています。

生活支援事業の中に、学齢期の子どもたちの利用が多い一時ケアやショートステイ、障害の有無を問わず無料で親子が交流できるおもちゃ文庫があります。一時ケアの場合、有料で学校への迎えを行っています。1階にはカフェ併設のパン屋“こんがり工房”があり、障害のある方たちが生き生きと働いています。



こんがり工房は水・木・金曜の11:00～15:00オープン、地域の人たちでにぎわいます

名 称	サポートセンター連
活 動 時 間	事業により異なる
活 動 場 所	サポートセンター連 他
連絡先	TEL：045-360-9778 FAX：045-360-7004
ウェブ サイト	http://www.houmon-no-ie.or.jp/ren/ren-top.html
費 用	なし

「障害者地域活動ホーム」とは

「障害者地域活動ホーム」は、在宅の障害児・者及びその家族等の地域生活を支援する拠点施設として、横浜市が独自に設置しているものです。主な事業は日中活動支援事業、ショートステイやおもちゃ文庫などの生活支援事業及び相談支援事業となっていて、障害児が利用できるサービスも充実しています。

各ホームによって事業の内容が異なりますので、お近くのホームにお問い合わせください。障害者地域活動ホームの一覧は横浜市ホームページから見ることができます。



所長からの
メッセージ

当センターは障害者の地域生活をサポートしています。1階にあるおもちゃ文庫は障害の有無に関係なく親子で利用可能です。障害の人と触れ合ったことのない方も、ぜひ連の中で身近に感じてほしいと思います。

社会福祉法人型 障害者地域活動ホーム

名称	所在地	問い合わせ先
つるみ地域活動ホーム幹(みき)	横浜市鶴見区北寺尾 4-21-20	TEL: 045-585-9246 FAX: 045-585-9247
かながわ地域活動ホームほのぼの	横浜市神奈川区神大寺 2-28-19	TEL: 045-491-2141 FAX: 045-491-2151
地域活動ホームガッツ・びーと西	横浜市西区浜松町 14-40	TEL: 045-250-6506 FAX: 045-251-6315
地域活動ホームどんとこい・みなみ	横浜市南区中村町 4-270-3	TEL: 045-264-2866 FAX: 045-264-2966
港南中央地域活動ホームそよかぜの家	横浜市港南区港南 4-2-8	TEL: 045-847-0230 FAX: 045-845-5610
ほどがや地域活動ホームゆめ	横浜市保土ケ谷区神戸町 140-2	TEL: 045-340-3360 FAX: 045-334-0462
地域活動ホーム連(れん)	横浜市旭区柏町 59-2	TEL: 045-360-9778 FAX: 045-360-7004
いそご地域活動ホームいぶき	横浜市磯子区杉田 5-32-15	TEL: 045-778-1228 FAX: 045-778-6595
金沢地域活動ホームりんごの森	横浜市金沢区能見台東 2-4 能見台ふれあい館 1F	TEL: 045-784-2709 FAX: 045-784-2758
しんよこはま地域活動ホーム	横浜市港北区大豆戸町 518-6	TEL: 045-531-4400 FAX: 045-531-6200
みどり地域活動ホームあおぞら	横浜市緑区中山 1154-1	TEL: 045-929-2566 FAX: 045-929-1961
つづき地域活動ホームくさぶえ	横浜市都筑区牛久保東 1-33-1	TEL: 045-590-5778 FAX: 045-590-5779
戸塚地域活動ホームひかり	横浜市戸塚区川上町 4-9	TEL: 045-828-2820 FAX: 045-825-3199
地域活動ホーム径(みち)	横浜市栄区桂台中 4-5	TEL: 045-897-1101 FAX: 045-897-1119
泉地域活動ホームかがやき	横浜市泉区中田北 3-6-55	TEL: 045-804-6932 FAX: 045-804-6972
せや活動ホーム太陽	横浜市瀬谷区三ツ境 78-12	TEL: 045-362-8803 FAX: 045-362-8902



● NPO 法人 サポートハウス ワン・ピース

個性豊かな子どもたちに 安らいで仲間と過ごせる「居場所」を

大和市内に4つの拠点を構えて活動するサポートハウス ワン・ピースは市内在住の障害のある小・中学生を対象に、放課後の「居場所」を提供しています。

週に1～2回の決まった曜日の終業時間に合わせてスタッフが学校へ出向き、子どもたちを車でお迎えします。ハウスでの時間は子どもたちの自主性に任せた自由遊びが基本ですが、それぞれの特性を見極め、活動を通して課題に取り組むことで、主にコミュニケーション、生活面での療育的効果もねらいます。ワン・ピースが大切にするのは子どもたち自身と家族の安心。そのために、関わるすべての大人の連携を重視し、学校や親との信頼関係を大切にしています。

市内を旧国道246号線で南北に分け、南側在住小学生はワン・ピース、中学生はツー・ピースの対象。さらに北側では小学生がフォー・ピース、中学生はスリー・ピースを拠点とし、それぞれの連携も。進級により拠点が移っても、スタッフ相互の連絡により子どもたちに混乱が生じない配慮がなされています。



ぬり絵など遊びのなかでの課題を通してコミュニケーションを大切に

名 称	NPO 法人 サポートハウス ワン・ピース
活 動 時 間	月～金曜 13:30～17:00
活 動 所	大和市内に4拠点
連絡先	TEL & FAX : 046-260-6144 (ワン・ピース)
会員数	約90名(利用者数)
対象者	知的障害(室内で移動できれば身体障害も受け入れ可)児
年齢層	小学生～中学生
費 用	自立支援法による補助適用 (実費負担あり)



代表
コメント

ひとつでもピースが欠けてはパズルは完成しません。私たちの社会でも一人ひとりがかけがえのない大切な存在。個性豊かな子どもたちに安全でリラックスできる空間を提供し、主にコミュニケーション、生活面でのスキルアップをサポートします。



遊んだあとはお片づけ。生活習慣の確立も大事にして過ごします



リラックスした空間で、好きな遊びに集中して取り組んで



豊かな関わりのために、子ども2名につきスタッフ1名を配置

<地域生活支援事業と児童デイサービス>

サポートハウス ワン・ピースは大和市内の4つの拠点で活動しています。それぞれが障害児の放課後の「居場所」を提供していますが、年齢や地域ごとの区別のほか、制度上の提供のありかとも異なっています。ワン・ピースからスリー・ピースまでが、地域生活支援事業のひとつ、日中一時支援で、フォー・ピースが児童デイサービスです。

日中一時支援は市町村の実施している事業であるため、原則として利用はその市民に限られ、利用するためには市町村へ利用手続きをします(192ページを参照)。

児童デイサービスは個別給付事業と呼ばれ、事業所が県の指定を得て、主に障害児の療育支援を行うことが目的の事業です。実施する事業所にもよりますが、市外の方でも利用できます。利用するためには、お住まいの市区町村に支給申請という手続きを行い、事業所と利用契約を結びます。

支援内容が同じでも、ベースとなっている制度が異なる場合は、このように利用手続きなどの違いがあります。

● ふきのとう舎 日中一時支援

ベッドや和室もある家庭的空間で ゆったり過ごす放課後を支援

大和市の引地台公園近くの多機能型施設・ふきのとう舎では、大和市と一部綾瀬市の知的障害児を対象に日中一時支援の事業を行っています。

高校生を含む学齢期のお子さまで児童障害福祉サービスの支給決定を受けている子が対象。平日の放課後、学校まで車で迎えに行き、ふきのとう舎生活棟で夕方までの時間、お預かりします。活動スペースは3DKのアットホームな空間。本やおもちゃなどをそろえた部屋に加え、休養もできる和室や、ベッドを備えた寝室も用意されています。家庭的な空間でゆったりリラックスして過ごせるのです。家庭的ながらご家庭とは違う環境で、コミュニケーションや社会経験のトレーニングの場としても最適です。



リラックスして過ごせるアットホームな空間

名 称	ふきのとう舎 日中一時支援
活 動 日 時	月～金曜 13:30～17:30 (原則として・ ほかに年末年始や夏季休暇あり)
活 動 場 所	ふきのとう舎 (大和市柳橋5-3-1)
連絡先	TEL : 046-269-8880 (ふきのとう舎) FAX : 046-267-7059
ウェブ サイト	http://tomoni.or.jp/
会員数	定員6名 (1日)
対象者	知的障害児
年齢層	学齢期 (高校生含む)
費 用	自立支援法に基づく費用・実費

日中一時支援

日中一時支援とは、市町村が実施する地域生活支援事業のひとつで、障害児・者の日中における活動の場（施設における預かり・見守り）として、障害者の就労支援や家族の一時的な負担軽減を目的とする市民向けサービスです。

各市町村あるいは日中一時支援を提供する施設によって、活動内容や利用対象者、利用の手続き方法などが異なります。

お住まいの市町村の障害福祉担当課までお問い合わせください。



代表
コメント

特別な活動は行いませんが、とにかく家庭的でリラックスできる時間を提供することを心をかけています。詳細はお問い合わせください。

● 横浜重心グループ連絡会～ばざばネット～

横浜市内の重心グループの連携を強化 地域の中で「普通の暮らしができるように」

横浜重心グループ連絡会～ばざばネット～は、横浜市内の地域訓練会、特別支援学校、養護学校、療育センター等に所属する重症心身障害、肢体不自由の子ども達の親の会など、重症心身障害者関連15団体が加盟している団体です。多種多様な会を繋ぎ協力しあって情報の共有や問題を認識し解決のため連携していくことを目的に、平成13年7月に横浜重心グループ連絡会を立ち上げました。重症心身障害及び肢体不自由児者と家族の地域における普通の暮らしを実現するために、各会が連携し情報交換、勉強会、要望をまとめ行政との話し合い等を行っています。また年1回シンポジウムを開催し、横浜市内15団体の情報交換を行っています。



名 称	横浜重心グループ連絡会～ばざばネット～
活 動 時 間	年間5回の定例会の他、勉強会・行政への要望書の提出、話し合いそれに向けての集まり等 午前10:30～12:30頃
活 動 場 所	横浜ラポール
連 絡 先	横浜重心グループ連絡会～ばざばネット～事務局 TEL & FAX : 045-381-9807 E-mail : m-mine@kmail.plala.or.jp
ウェブ サイト	現在検討中
会 員 数	250人
対 象 者	重症心身障害者及び肢体不自由児者親の会または、活動趣旨に賛同する団体・個人
費 用	10000円(団体・地域訓練会) 3000円(自主グループ・親の会) 2000円(個人)



代表
コメント

現在重症心身障害者関連15団体が参加し、「地域の中で、普通の暮らしができるように」という願いを礎にし、活動を行っています。重症心身障害児者にとって自立とは必要な支援が受けられるようになることです。自ら伝えることが困難な障害のある本人に代わって、必要な状況を伝えていく役割を家族が担うことができればと思います。

横浜重心グループ連絡会 ばざぱネット

団体名	活動内容
グループスヌーピー	音楽療法、ヘアカット、保育、入浴会等
ハートの会	工作、運動、手遊び、外遊び
ピータンパンの会	会報発行、懇親会、ばざぱネット参加
ウイング	親の勉強会、情報交換、親睦会
元気かい!?	親の勉強会、情報交換、親睦会
リンク	情報交換
輝会	情報交換、親睦
上菅田特別支援学校医療的ケアを考える会	情報交換、親睦
華の会	親の勉強会、情報交換、親睦会
サルビアの会	音楽会、クリスマス会、情報交換
どんぐりの会	定例会
愛あい	定例会
Crayon	定例会、勉強会、親睦会
はじめのいっぽ	定例会、勉強会、親睦会
ぽかぽかあおば	音楽療法、勉強会、レクレーション